バリキャリ母さんが
DQNに寝取られた
VOL3
R18
ADULT ONLY

あらすじ

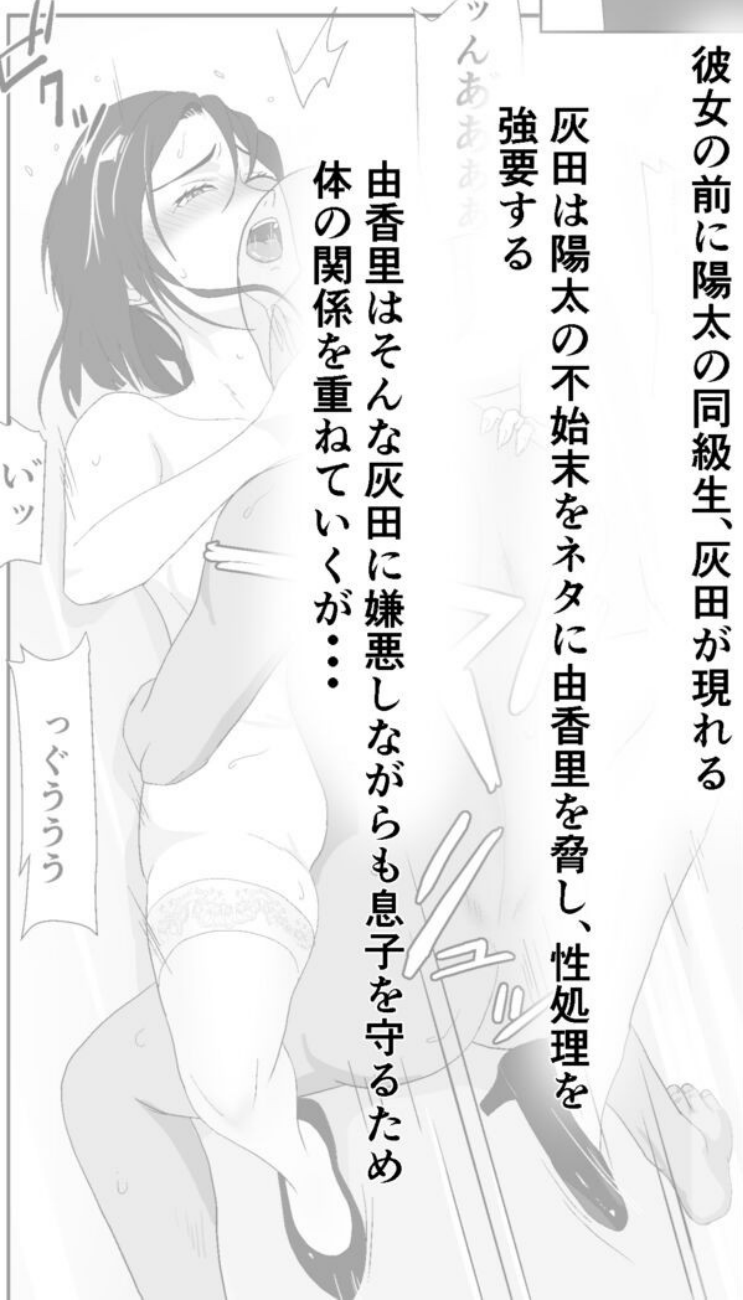
大手企業で管理職を務める斎藤由香里は
順調にキャリアアップを重ねていた

家に帰れば優しくも誠実な夫と息子の陽太が迎えてくれる
幸せな日々

そんなある日、
彼女の前に陽太の同級生、灰田が現れる

灰田は陽太の不始末をネタに由香里を脅し、性処理を
強要する

由香里はそんな灰田に嫌悪しながらも息子を守るため
体の関係を重ねていくが・・・



それでは失礼します
カチャ
斎藤部長
やあお疲れ様
これは・・・武田専務

頑張っているようだね
さきほど君の提案した『女性スタッフ向けのキャリアデザイン制度』の創設案は素晴らしかったよ
恐れ入ります
あの頭の固い役員連中を納得させるとは実に見事だ

今後ますます海外展開を加速させる我が社にとって優秀な女性スタッフの育成は急務だ
むろん相応の地位で迎える必要がある君のようにね
斎藤部長にはそのロールモデルとして存分に実力を発揮して欲しい

過分なお言葉をいただき恐縮です
皆の規範となるよう精進してまいりますわ

ほう気負いはないようだねまさに泰然自若だな
期待しているよそれじゃ

昇進してから
ひと月が経った

膨大な
業務に
圧倒される
日々

カタ
カタ
カタ

課される
責任も仕事量も
これまでとは
比べものに
ならない

とはいえ
今の私にとって
この環境は
救いでもあった

仕事に
忙殺されている間は

思い出さずに
済むのだから

ヴー

忌まわしい
記憶を・・・

!?

16:08
○月14日 金曜日

灰田
ヤッホー！由香里ちゃん元気？

へへ
本当に来るとは
思わなかったぜ

ふざけんじゃないわよ！
断ったら
家に押しかけるって
脅しといて

ちょッ!?

やめなさいッ

こんな所で――っ

こんな所だから
いいんだろ

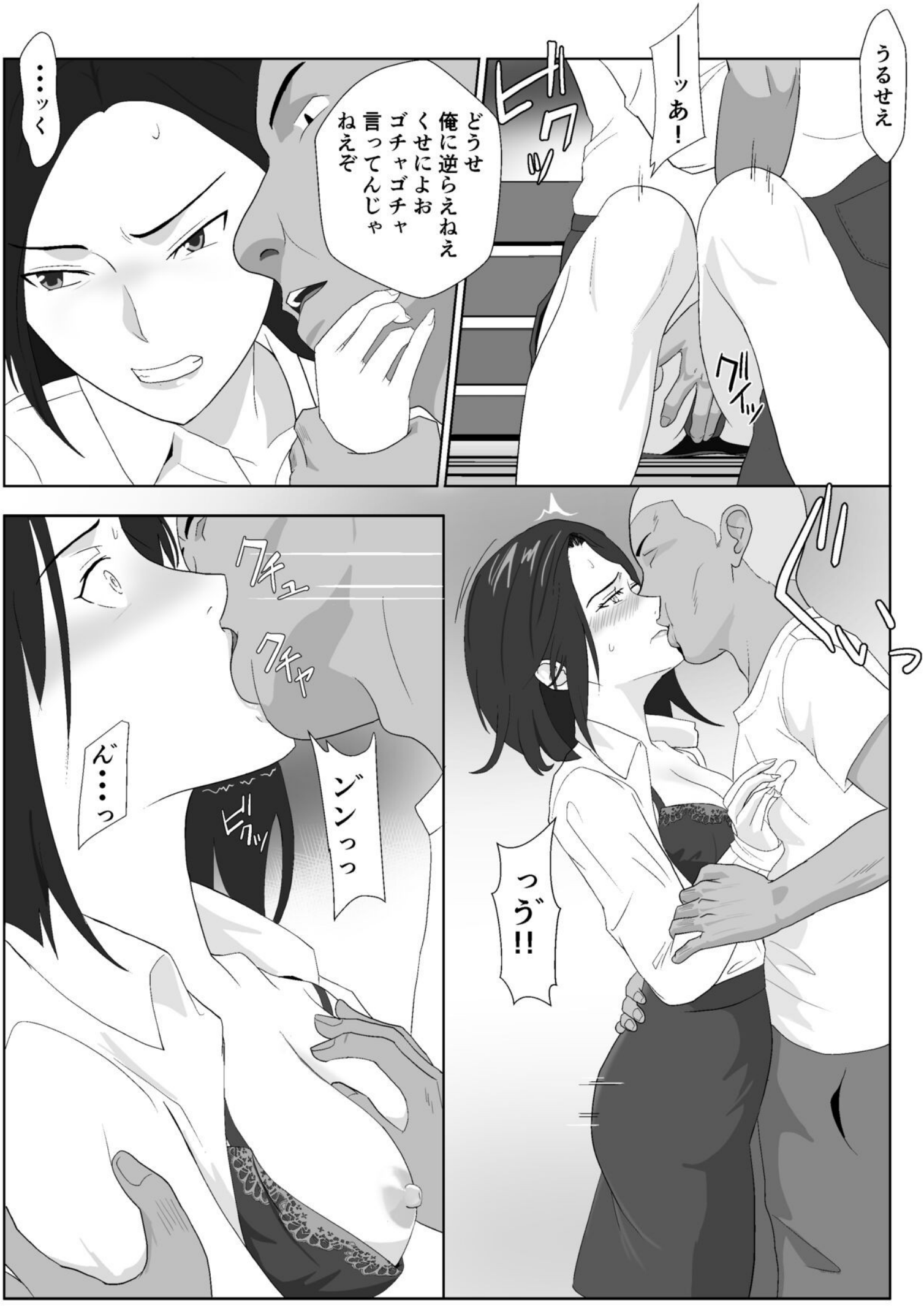
周りを
見てみ

っく

誰も
他人の事
なんか
気にしちゃ
いねえって

ほら

そんなの関係ないわよ！
やめて
プチッ
つれねえなこの間はさんざんイかせてやったろ
いやッ！
あれだけエロいとこ見せといて今更だろ
それともあれかまだ俺に『脅されてる』って言い訳が欲しいのか？
ハッ
ハッ
っ!?
言い訳…？何を言って…
ったく面倒臭えなあ
これだから体面を気にする大人ってやつは…
こいつ…ッ
ピク
わかったわかった『逆らうんじゃねえお前の息子がどうなってもいいのか？』ほら、これでいいんだろ？
さっさと私の前から消えて！
人を侮辱するにもほどがあるわよ


うるせえ
――ッあ！
ヒクッ
グイッ
どうせ俺に逆らえねえくせによおゴチャゴチャ言ってんじゃねえぞ
…ッく
グイッ
クチュ
クチャ
ンンっ
ん…っ
ヒクッ
っう!!

うぅっ
もっと舌出せ
!?
んうッ
やめッ
これ好きだろ
ちゅぽん
チッ
…ッは
うるせえな
いいところだったのによお
着信中
陽太
って陽太からじゃん
!?
クソが！
いつも人の邪魔ばっかしやがって
ムカつく奴だぜ
おばさんのだろさっさと切れよ

——そうだ！
やっぱ
スマホ
切らなくて
いいや
出ていいぜ
ていうか出ろ

もしもし
母さん
・・・っ
どうした・・・の
もっと強く挟めって
うッ
今日さ
友達とファミレス
寄るから
晩飯いらないから
母さん？
んッ
ぺちゃ
ぴちゃ
陽太
や、やめなさい・・・っ
音・聞かれたら・・・
し、信じられない
どこまで
恥を知らないの
このクズは

聞こえてる？
ンッぐ!?
ほら手が止まってんぞ
ごほっ
・・・聞こえてるわよ
うーん電波悪いのかな・・・
殺してやりたい
ハッ
ハァ
なんか声が遠いし
こんな姿もしあの子に知られたら・・・
陽太くーん元気～
ちょッ!?
やめてッ！
お前の母ちゃん公園で痴女ってるぜ
ふざけないで！
あれ？
そばに誰かいるの？
熟女おっぱい柔らけえけどもうちょい乳圧が欲しいな
このッ黙ってなさい！

母さん・・・？
よ、酔っ払いよ
え？
近くにいた酔っ払いが絡んできたのほんと迷惑だわ
お一怖っ
マジ切れされちゃった(笑)
おほッ!?
エロっ
キレながら乳首めちゃ立ってきた!?
っ!?
悪い悪いそんなに動揺するとは思わなくてさ
っく
——ふざけんじゃないわよクソガキ
もう意地悪しないから早く抜いてくれよ
早くしないと退屈してまた喋っちゃうかもよ
もっと大きな声で
酔っ払い・・・？
それって大丈夫なの？
母さん今どこ？
俺心配だし迎えに行くよ

あッ・・・ありがとう
っ・・・・・・
でも・・大丈夫だからッ
もうどこかに行っちゃったみたいだし
でもさ最近物騒だし
通話中
陽太
スピーカーオン
保留オフ
おかしな奴多いでしょ
万が一があっちゃいけないから・・・
ヘッ
良い子ぶってんじゃねえ
やめなさい！あの子を悪く言うのはアンタみたいなクズが
んぐッ!?
いっ・・・や

へえ、意外だな
怒っても、クズに舌突っ込まれたらちゃんと絡めるんだ
!?
おーい聞こえてる？
スケベになったよなおばさん
いい加減なこと言ってんじゃ――ッ
大声出すなって気づかれるぞ
――っ
ふざけてる何がスケベよ！
ああもうちょい強く
ガキが調子に乗るな・・・!!
母さんってば！
・・・陽太
こっちは本当に大丈夫だから
・・・っっ
そっかわかったよ

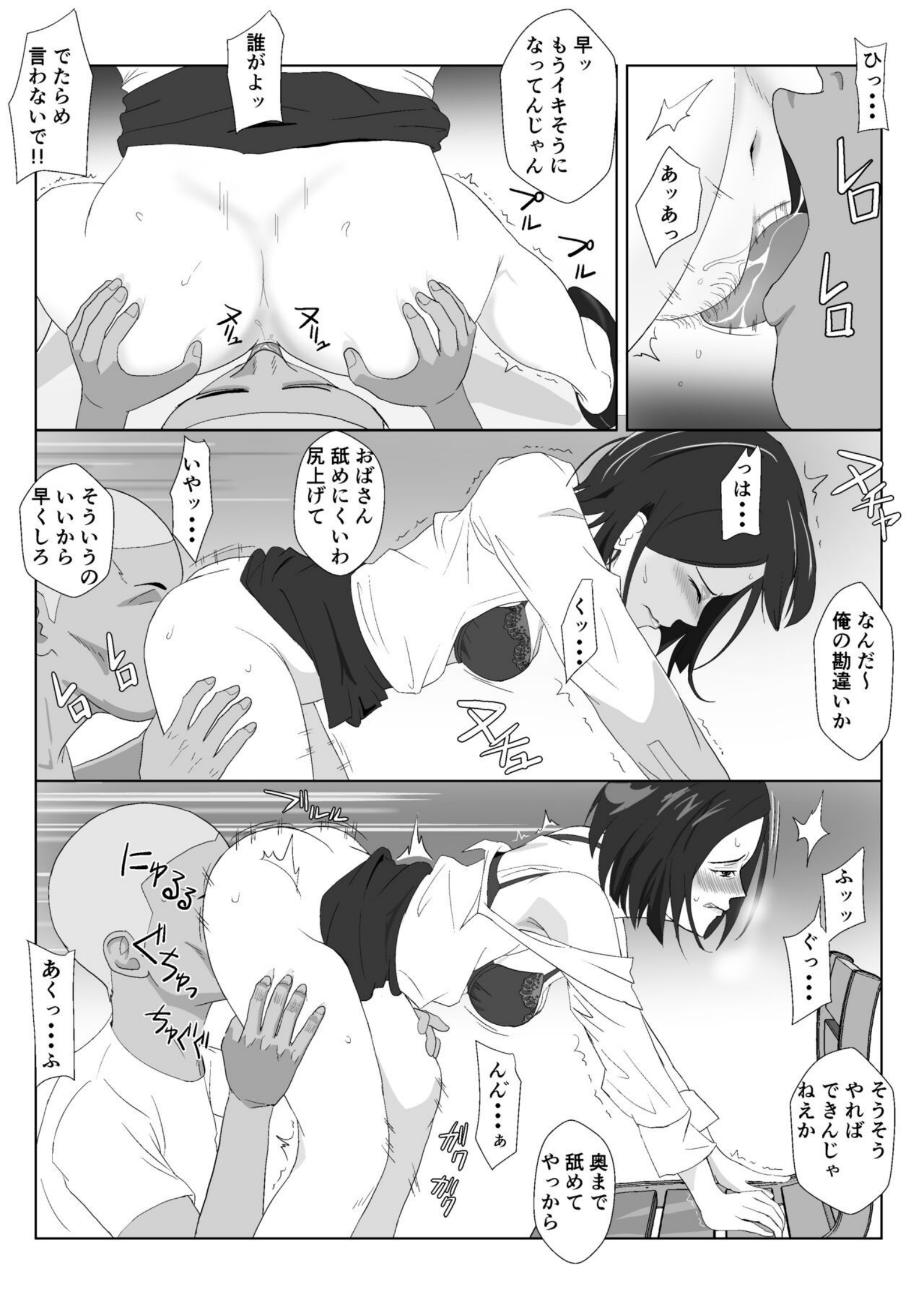
先っぽ舐めしゃぶれ
それじゃさ何かあった時は――
遠慮しないですぐ連絡してよ
こんなはしたない真似をする私を許して・・・
ぢゅちゃ
ぢゅちゃ
あなた・・・陽太・・・ごめんなさい
はっ
はっ
はっ
ずりっ
ずっ
ずりゃ
あ・・・ありがとう
その時は・・・っ・・・頼りにさせてもらうから
へへ任せてよ
ニュッ
ニュッ
ニュッ

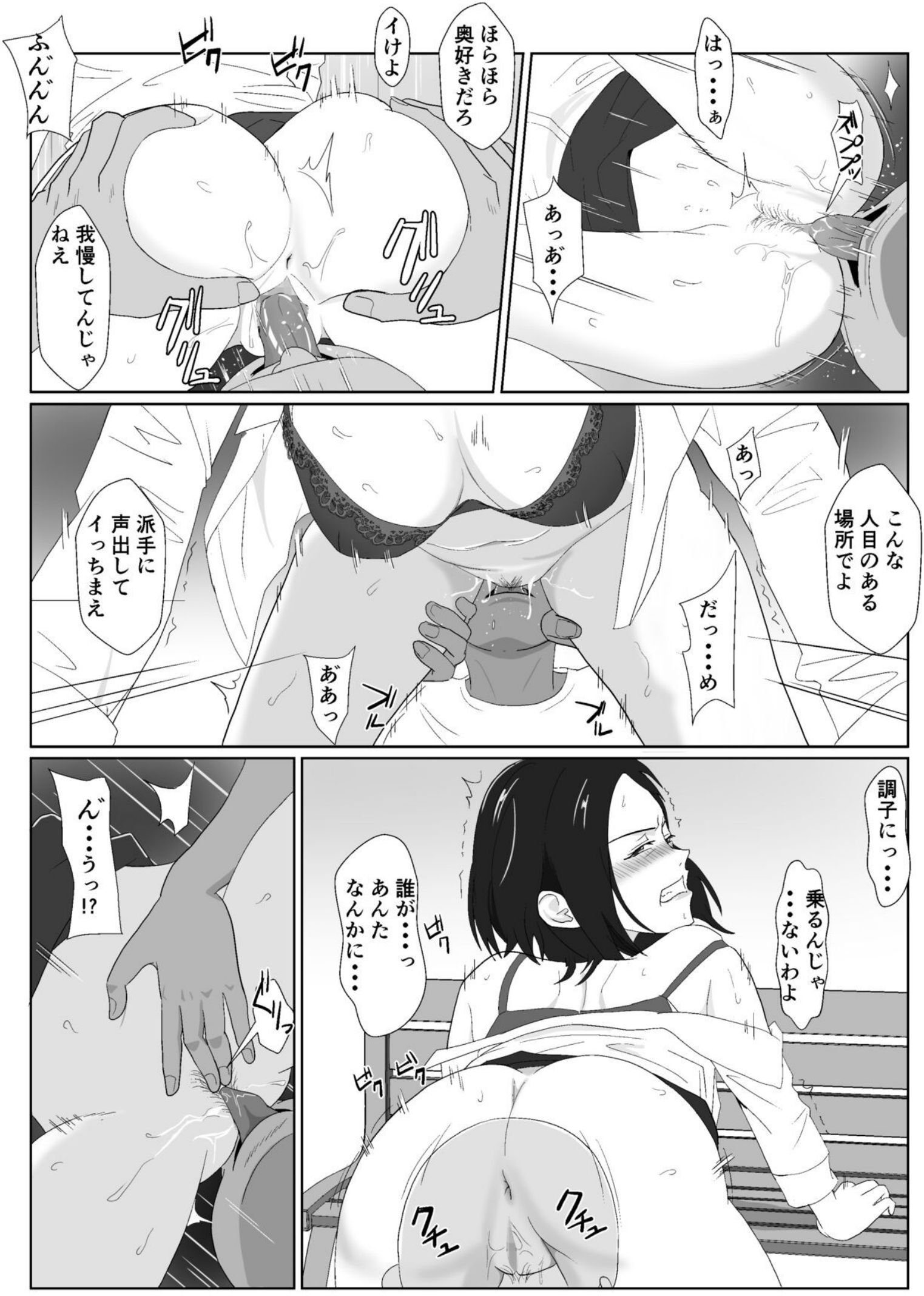
ふッ…
っふ
ニュプ
ニュプ
ニュプ
んッ
んっぐ
ジュプッ
ジュプ
やべッ!!
待ち合わせに
遅れそう!
ぢゃぷ
ぢゃぷ
はっ
はっ
はっ
ビクッ
それじゃね
母さん
ジュボ

うッ
ゼクッ
んぶッ!?
っは
ごほッ
けほッ
陽太・・・
ぎゅう
・・・あまり遅くなっちゃダメよ
わかってるって！

もういいでしょ
この恥知らず
二度と
こんな所に
呼ばないで
・・・どいて
ぐい
まあ
そう怖い顔
すんなって
触らないで
ドンッ
痛ったあ
何すんのよ！
機嫌直せって
ちょっ!?
ぐい
やめなさいッ
おばさんも
気持ち良く
してやっから

いやッ！
ちょっと濡れてんじゃん
・・・ん？
うわ～さりげなく濡れてるのがマジっぽくてエロっ
いっ
いい加減な事言ってんじゃー
クチュ
んんッ!!
動くんじゃねえぞ
ぬりゅ
ぬりゅ
ビクッビクビク
まっ・・・
待ってッ


ひっ…
レロ
レロ
あッあっ
早ッ
もうイキそうに
なってんじゃん
プル
プル
ヌリュ
ヌリュ
誰がよッ
でたらめ
言わないで!!
っは…
ヌチャ
なんだ〜
俺の勘違いか
くッ…
ヌチュ
おばさん
舐めにくいわ
尻上げて
いやッ…
そういうの
いいから
早くしろ
レロ
レロ
ブルル
にゃるる
ぐちゃっ
ちゃぐ
ふッッ
ぐっ…
そうそう
やれば
できんじゃ
ねえか
んん…ぁ
ガクガク
奥まで
舐めて
やっから
あくっ…ふ


はっ・・・ぁ
ズプズッ
あっぁ・・・
ほらほら
奥好きだろ
イけよ
ビク
ビク
ふんぐんん
グリュ
グリュ
我慢してんじゃ
ねえ
こんな
人目のある
場所でよ
あっ
だっ・・・め
ブル
ブル
あぁっ
派手に
声出して
イっちまえ
乗るんじゃ
・・・ないわよ
調子にっ・・・
ビク
誰が・・・っ
あんた
なんかに・・・
ビク
ビク
クチュ
クチュ
ビクっ
ん・・・うっ!?

いッ
いやッ
ぶるるっ
はぁッ——
ッうううっ
ガタ
ガタ
ガクッ
ガクッ
っはー
ぐッ・・・くく

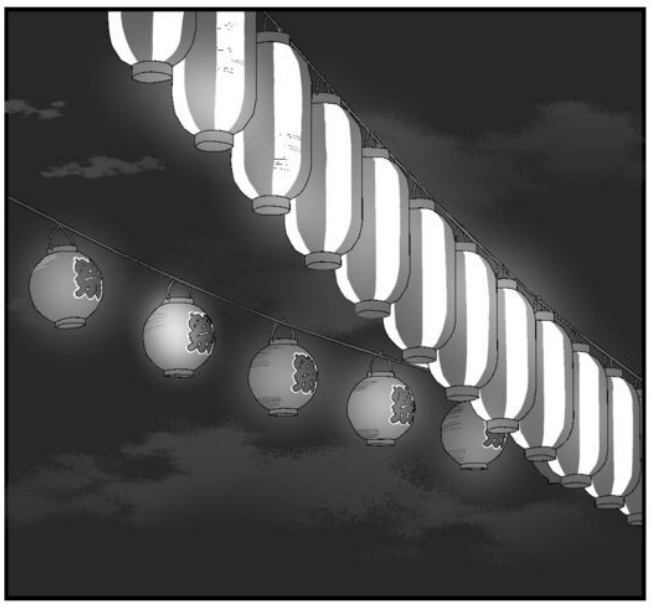
イっ・・・てない
・・・から
どうして・・・
おかしい・・・
ハイハイ
そうかよ

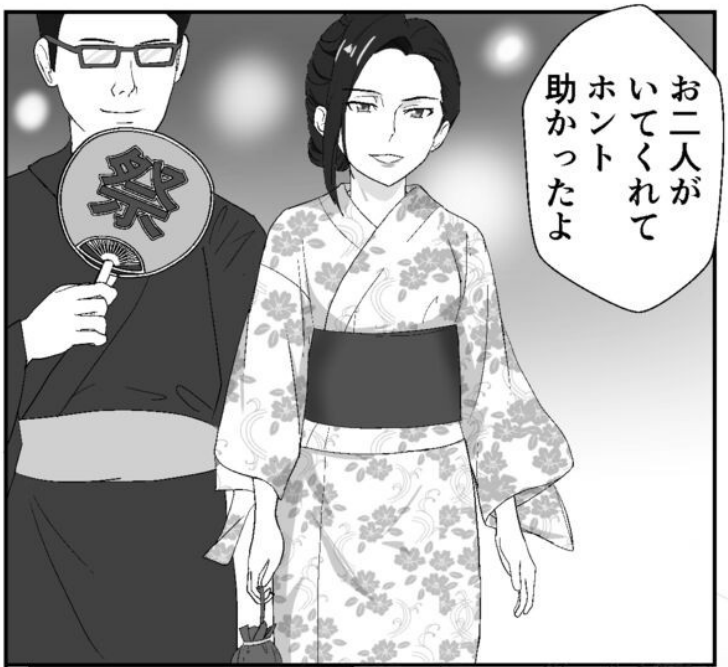
つまんねえな
イク時は
もっと乱れて
みせろよ
なに見栄張って
声殺してんだ

それよりさ
次はおばさんの
家でヤろうぜ
どうして私・・・
こんな奴に
好き放題されて
耐えられなく
なってるの・・・?
絶対に嫌よ・・・
何度も
言わせないで

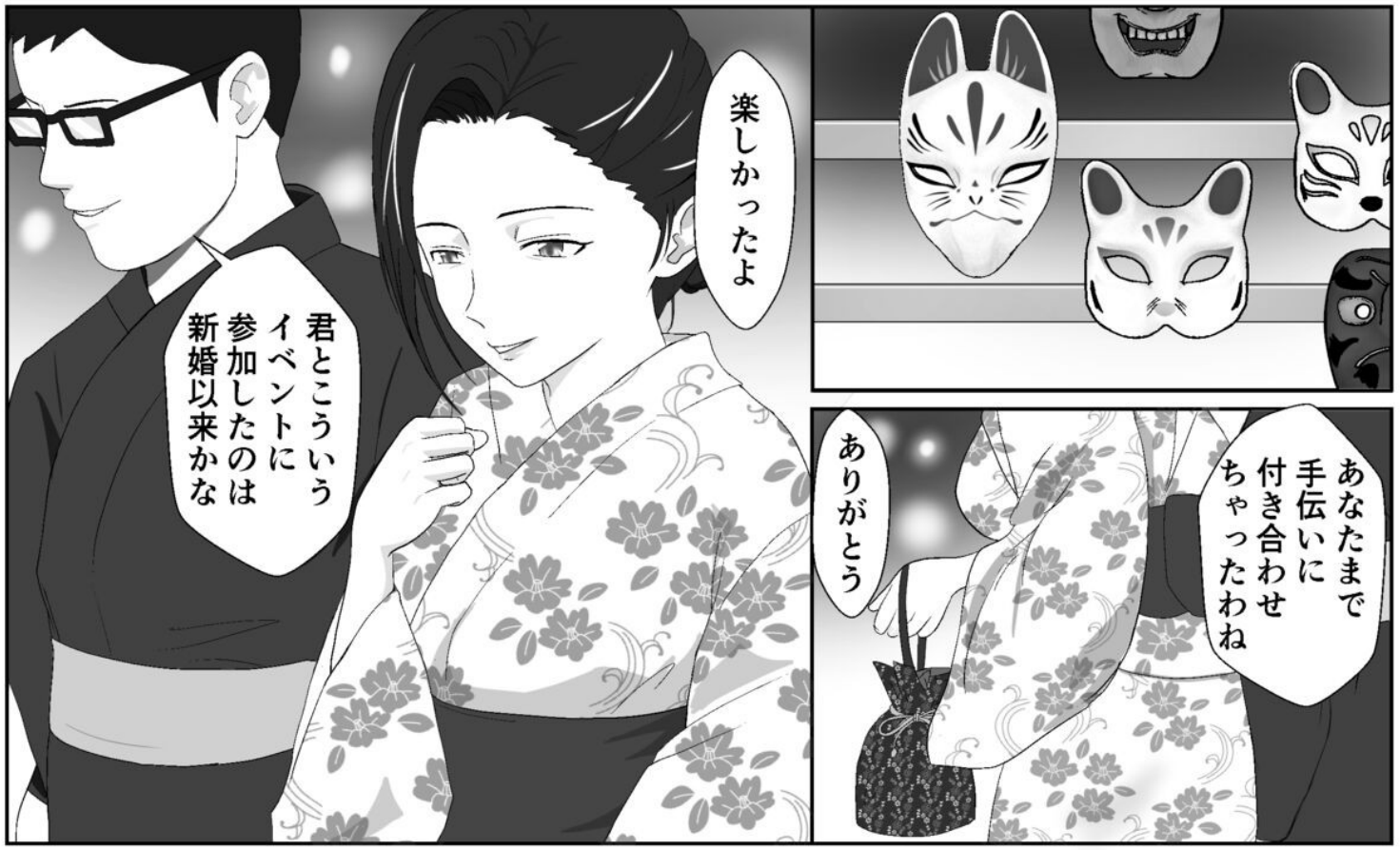
言い知れぬ不安は
常に胸の内で
くすぶり続け

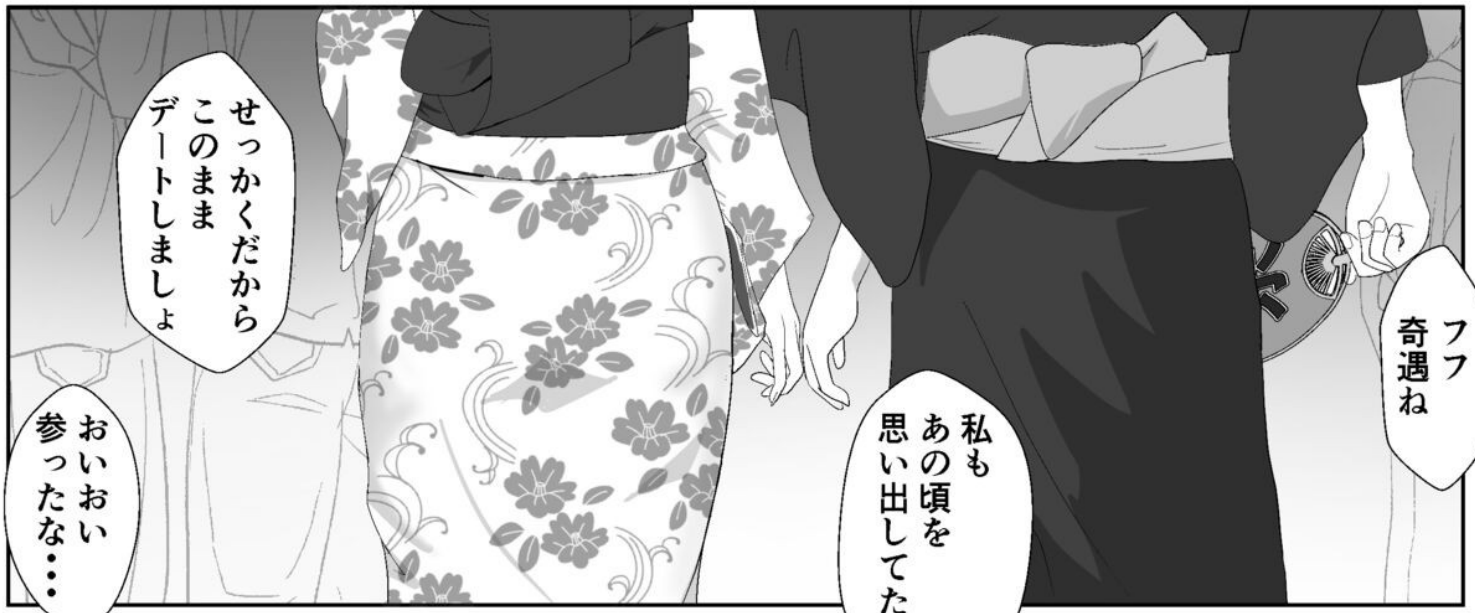
それは灰田が
私の前に現れるたび
ますます
大きくなっていった





いや～
奥さん
うれしいこと
言ってくれるねえ
ああ、そうだ！
あとはこっちで
やっとくからさ
夫婦水入らずで
祭り楽しんでってよ


楽しかったよ
君とこういう
イベントに
参加したのは
新婚以来かな
あなたまで
手伝いに
付き合わせ
ちゃったわね
ありがとう


フフ
奇遇ね
私も
あの頃を
思い出してたの
せっかくだから
このまま
デートしましょ
おいおい
参ったな・・・

なに本気で照れてんのよ・・・

あなたのせいでこっちまでちょっと恥ずかしくなったでしょ

えっ！僕のせいなのか!?

りんご飴

あらっー

懐かしいりんご飴じゃない

買っちゃおう

ちょっと待ってて

あおい由香里

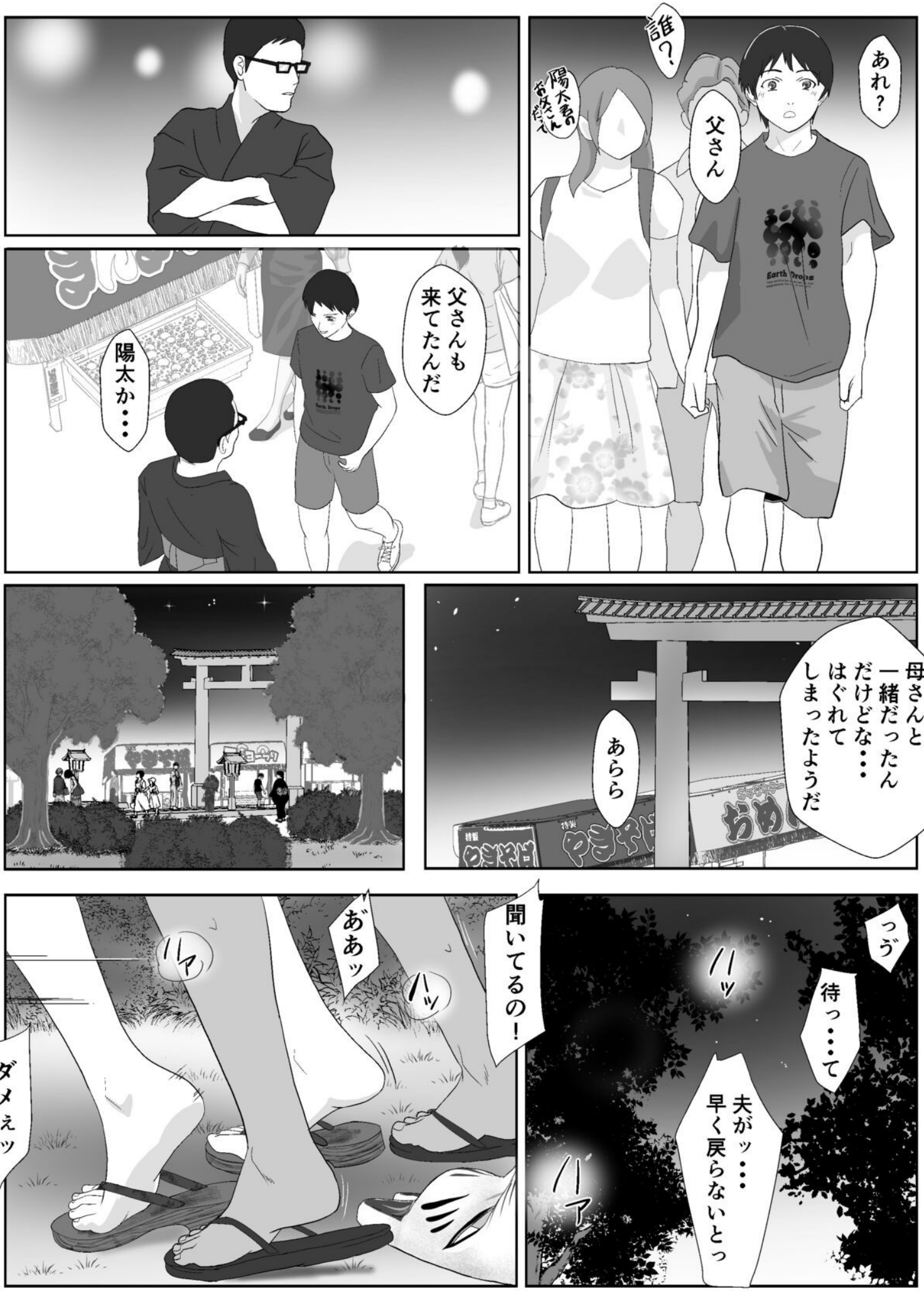
うーん小さいのでいいわよね

あの人も食べるかしら・・・？

俺の分もよろしくな

――ッ!?

なん・・・で？


あれ？
父さん
誰？
陽太君のお父さんだって
父さんも来てたんだ
陽太か・・・
母さんと一緒だったんだけどな・・・はぐれてしまったようだ
あらら
っぅ
ハッ
待っ・・・て
夫がッ・・・早く戻らないとっ
ハァ
聞いてるの！
ああッ
ハッ
ハァ
ダメぇッ

んぅッ
あッ
つぐ
パーン
あぁっ
パーン
はッあぁッ
パーン
はっ・・・
パーン
はあッ
待ってッッ
ガリッッ
放してッ
はッ
やめろって
言ってるでしょ!!
パチュッ
つく
パチュッ
パチュッ

ヴッ・・・
ズプ
っああ・・・ッ
夫が待ってるのよ!!
ズプ
ズプ
早くッ
いやッ
ズチュ
ズチュ
早くっ抜いてッ!
そんなに慌てるなっておばさん
グイッ
!?
はー
はー
はぁ
一発出したら解放してやるから——
オラッ
イけッッ
んあッ!?
ズッ
ッあ
ズッ
あっ
あッ
あぁ
ズッ
ズッ
ズッ
拒否っといてマ○コ濡れ濡れにしてんじゃねえ

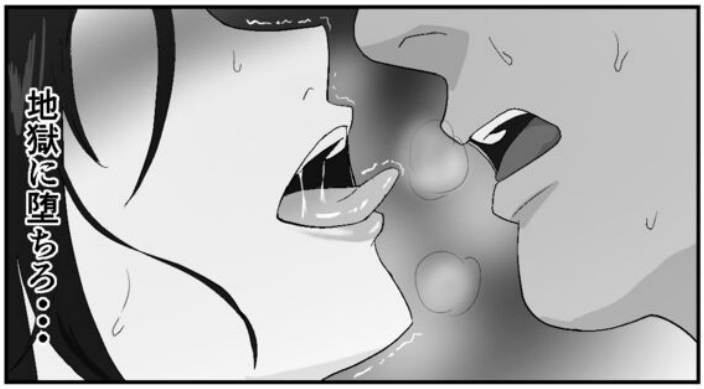
俺ら絶対相性良いよな
ハァ
ハァ
はぁッッ
ビクン
もうイきそうなんだろ
ビクッ
はッ・・ぁ
早過ぎねえかおばさん
ズン
ズン
ズン
・・・馬鹿じゃないの
思い込みもそこまでくると哀れね
気持ち悪いクソガキ
さっさと帰して
はは まだやせ我慢すんだ？
んッ!?
ぬぽっ
くい
年増のプライドってやつ？

あらら
ヤバいな・・・
!?
見ろよ
あれ
おーい
由香里
っ・・・!?
こっちに
近づいてるぜ
嘘・・
そんな・・・
このままだと
見つかるかも
早く
済ませようぜ
ッっ!?
ズリ
ズリ
待ちなさいッ
今はダメッ
だぁ・めッ!?
ッんん
おほッ
いつもより
キツっ
ああっ
だっ・・・め・・・
パン
パン
ビクッ
ビクッ
待ってッ
抜いッ・・・て

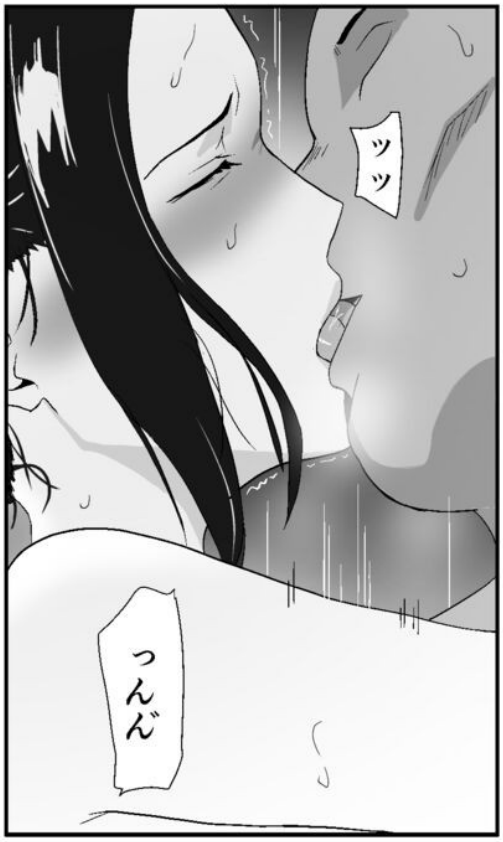
なんだよ
俺はおばさんの
浮気がバレない
ように早く
終わらせようと
してんのによ
んっ
ふざけっ・・・
ないでッ
静かにしてれば
バレねえって
いっ・・・
ああ
深ッ
やめッ
それにさ
俺に
突っ込まれても
なんとも
ないんだろ？
あっ・・・!?
だったらさ
大人しく
してろって
はあっ はっ
どうした？
声出てんぞ
旦那にバレるぜ
っ・・・あ
ふぅうッ
はっ・・・ぐう
・・・認めちまえよ
俺とヤると
良過ぎて声我慢
できねえって
うるさいッ
ぐッ
んぅっ・
うるさいのよッッ

ほら
もうわかって
んだろ？
自分が何を
すりゃいいか
スチッ
スチッ

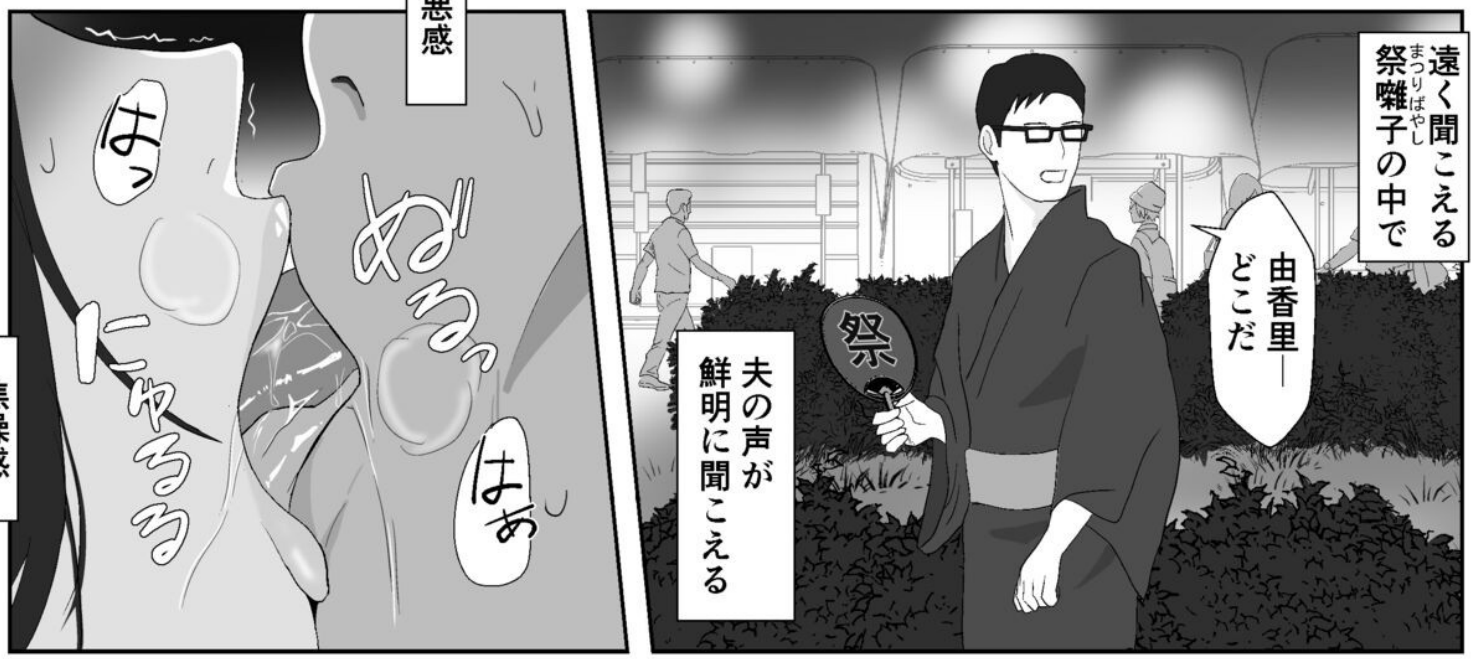
早く俺を
イかせないと
旦那が
来ちまうぞ
このクズ・・・

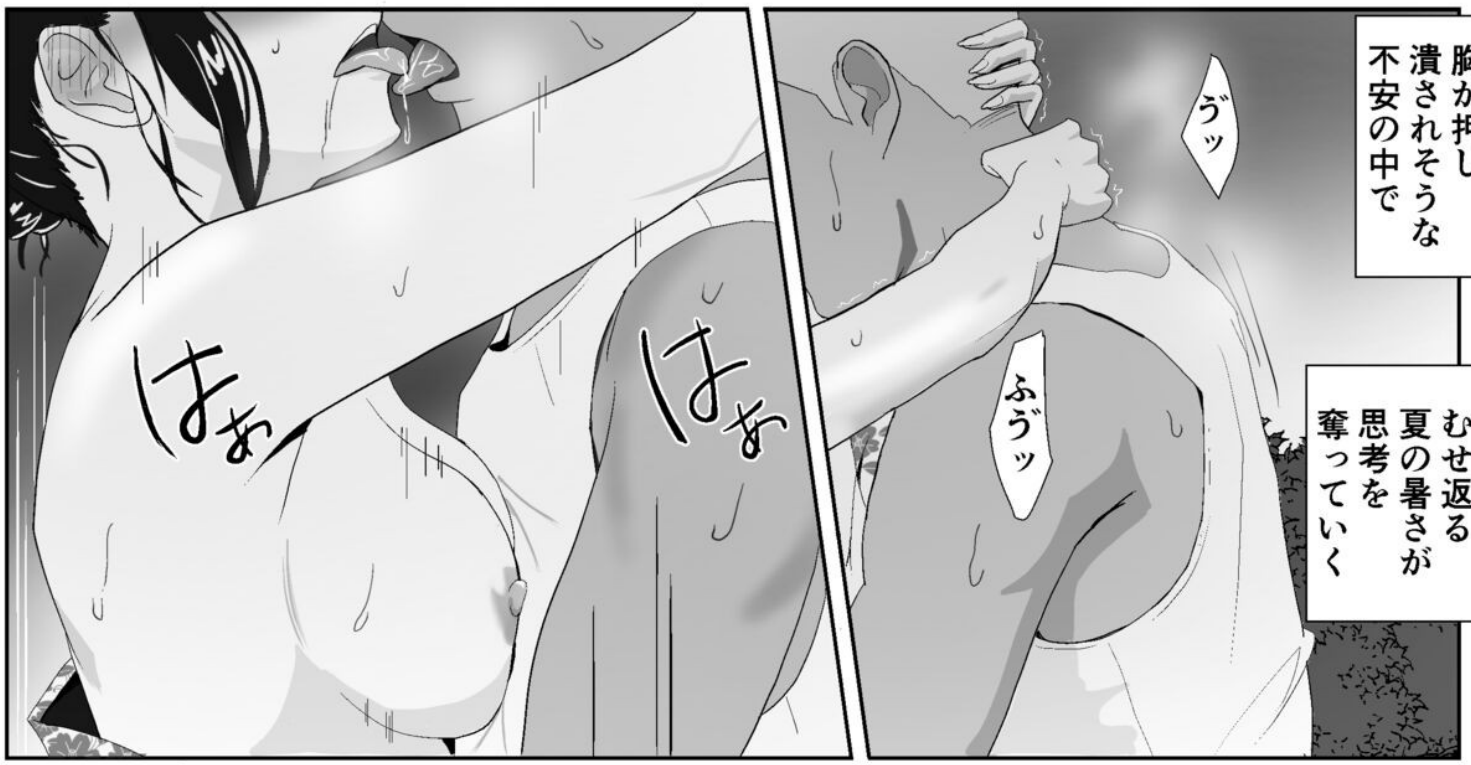

地獄に堕ちろ・・・

そんな訳ない！
ありえない！
ったく
素直じゃねえな
まあいいや


ッッ
っんん

ビクッ
ビクッ
くちゃっ
くちゃっ


遠く聞こえる
祭囃子(まつりばやし)の中で
由香里―
どこだ
祭
夫の声が
鮮明に聞こえる
罪悪感
ぬるっ
はぁ
はっ
にゅるる
焦燥感

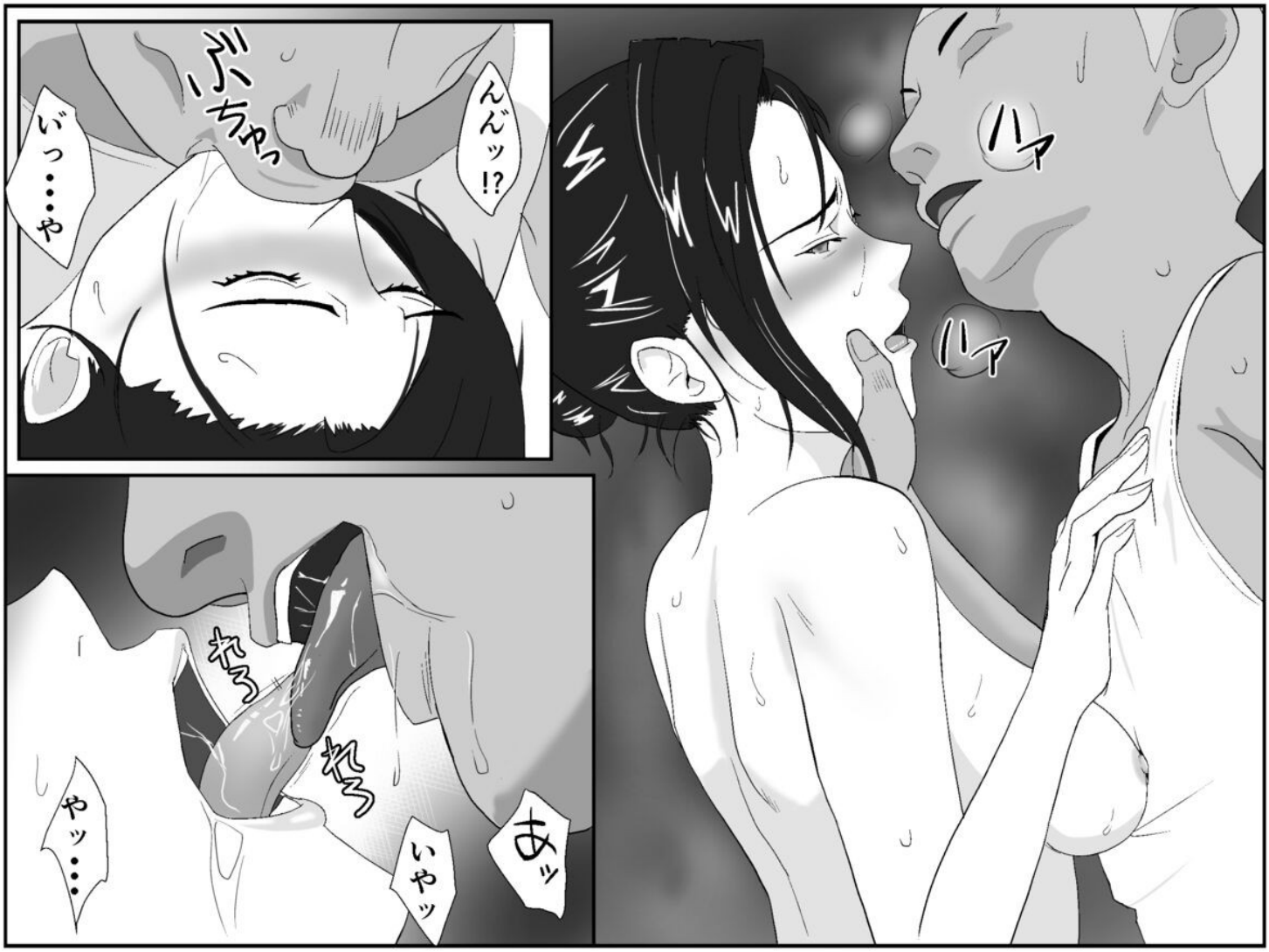

胸が押し
潰されそうな
不安の中で
うッ
ふうッ
むせ返る
夏の暑さが
思考を
奪っていく
はぁ
はぁ

どこにいるんだ
由香里!
次第に近づく
夫の気配

おっほ
滅茶焦ってる!?
…ッ
ハァ
ハァ
必死に
腰振って
エロっ
オチュッ
オチュッ

早くイって
イってよ！
ふぅッ
はあっ
でないと私――
ああッ
っぐ・・・
チュ
チュ
ふッ・・・うう
私・・・ッ
ふぅぅ―
ブル
ブル
ブル
ブル
きゅん
きゅん
ちゃ
ちゃ
ちゃ
いッ――

ッッぐう
ああ・・・
最低だ・・私は
うん？
誰かいるのか？
ガサッ
ッ!?
おっと！失礼ッ
まったく最近の若者はこんな所で破廉恥な・・・
はっ
はっ
良かったなおばさん
バレなかったみたいだぜ


んぐッ!?
ぶちゅっ
いっ・・・や
ハァ
ハァ
れろ
れろ
あッ
いやッ
やッ・・・

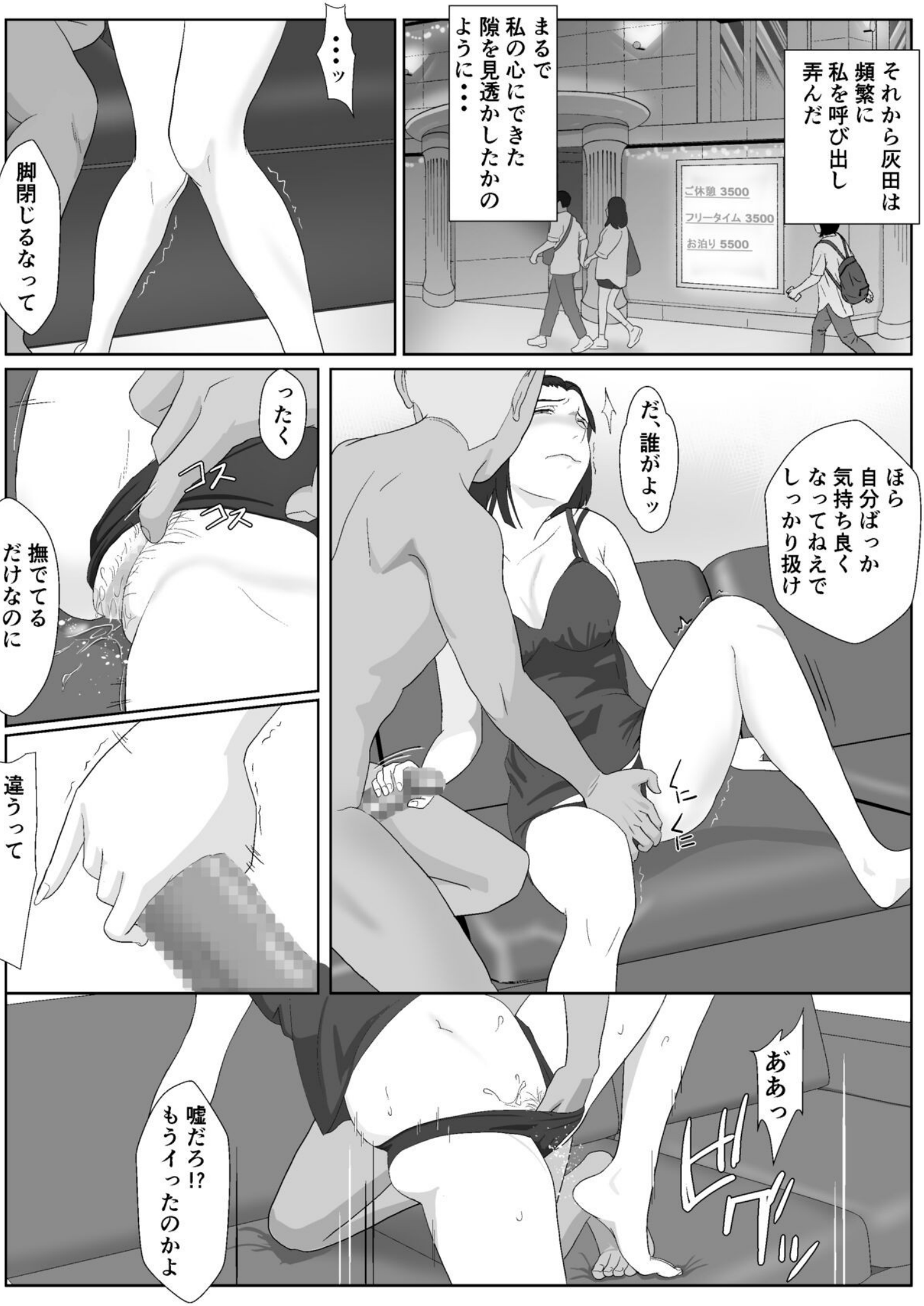
びくっ
ううっ
ひっ・・・あ
まっ
待って
中には―ッ
ビュッ

ビュッ
っ・・・あ・・・
ゴポ
はッああ・・・

おばさんが悪いんだぜ
はあ
はあ
あんたさスイッチ入るとマンコうねらせて吸いついてくんじゃん
ヤメロ
ヤメロ
今日は特にキてたよな
旦那を意識して興奮しちまったか？
悪い人妻だな～
二度と顔を見せないで・・・
あっおい待てよ

どうして
あの男をもっと
罵倒して
やらなかったのか・・・

後ろめたさで
夫の顔を
まともに見れない

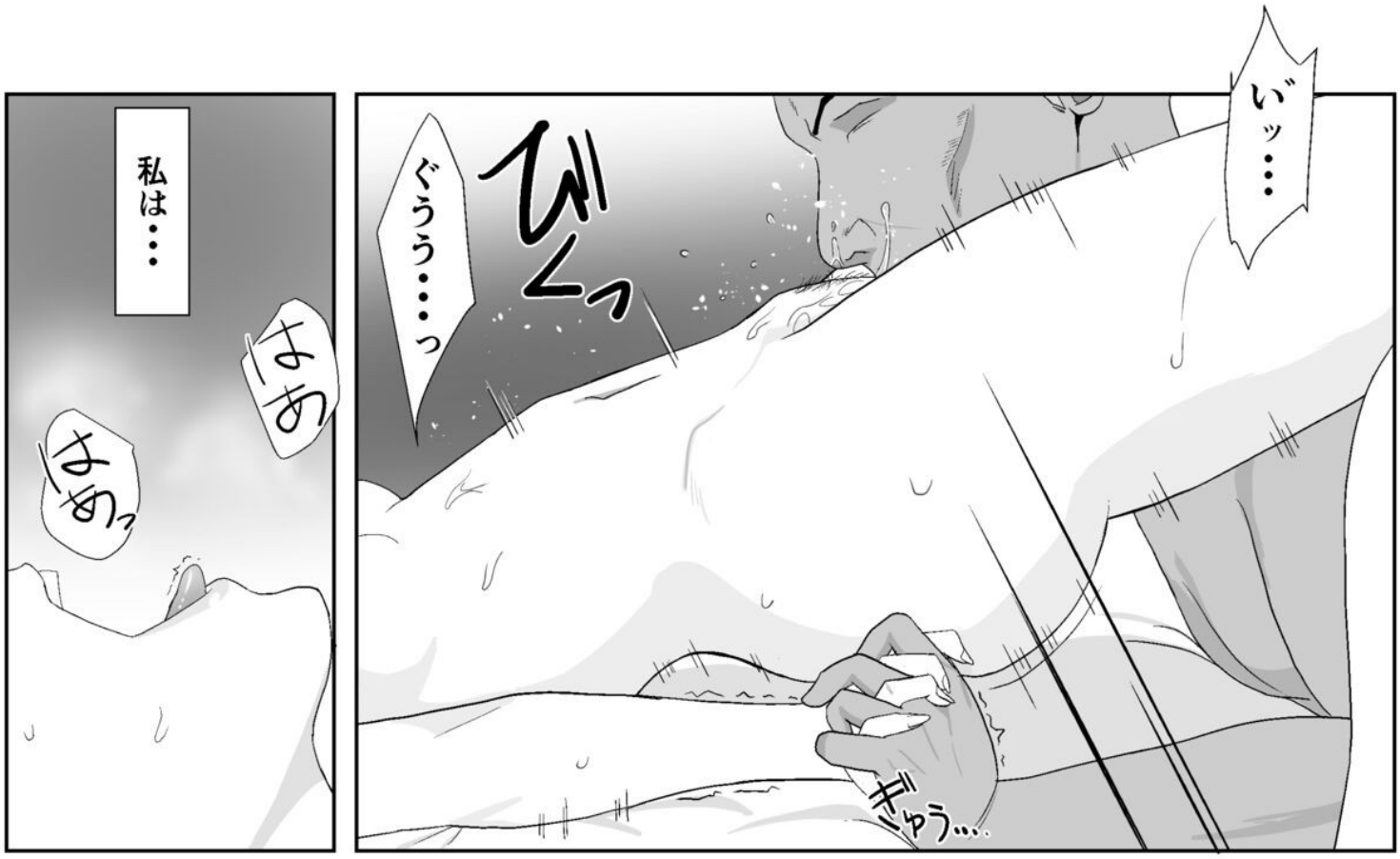

それから灰田は
頻繁に
私を呼び出し
弄んだ
ご休憩 3500
フリータイム 3500
お泊り 5500
まるで
私の心にできた
隙を見透かしたかの
ように・・・
・・・ッ
脚閉じるなって
ほら
自分ばっか
気持ち良く
なってねえで
しっかり扱け
だ、誰がよッ
ったく
コス
コス
撫でてる
だけなのに
感じすぎだろ
違うって
言ってるでしょ！
あぁっ
嘘だろ!?
もうイったのかよ

イってな――
っぅ!?
むううッ・・・
待っ
あぶッ
やッ
んんんんうッ
ひゃっ
もう
やめへえぇ
くちゃ
くちゃ
くちゃ
ガクッ
ガクッ
ガクッ
クルチュッ
クルチュ
クルチュ

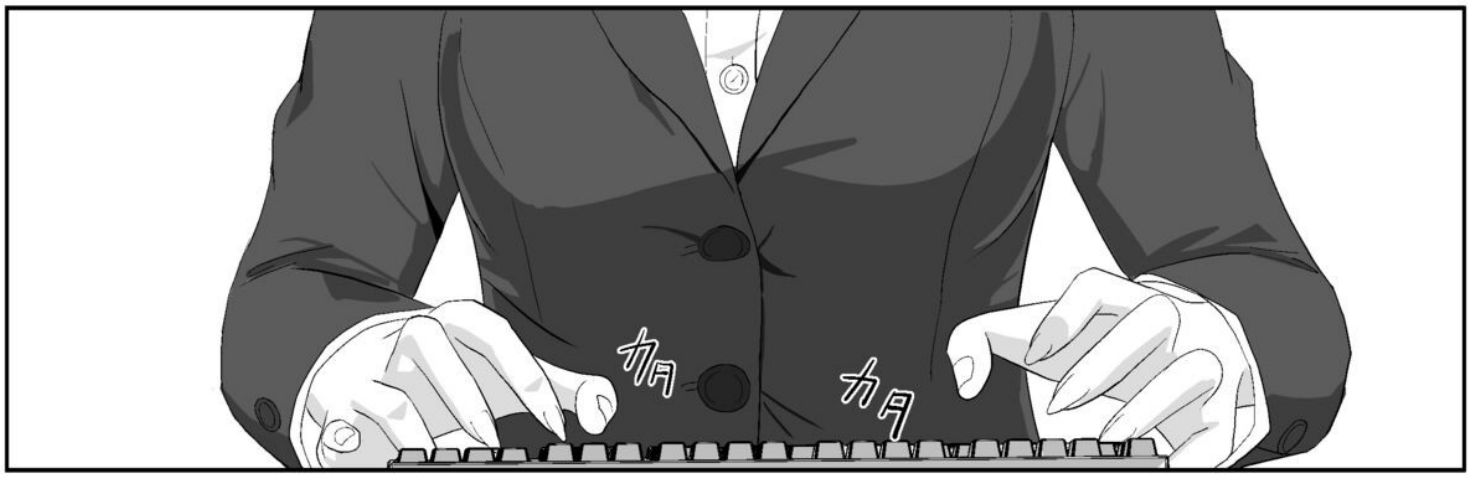
いいかげんにして！
はあ
まだ虚勢張るわけ？
面子ばっか気にしてマジで見苦しいオバハンだな
ふざけんじゃないわよクソガキ！
もううんざりッ
あっ おいッコラ待て
灰田は執拗だった
ーぁッ
昨日は勝手に帰りやがって！
っ・・・
逆らったらどうなるか思い知らせてやるからな！
は・・・ッ
聞いてんのかよくそババア！
うあっ・・・あッ
・・・ッッ
ぺちゃくちゃ
あっ
なんだだらしねえな
んんッ
4回イカされたくれえでへろへろか
くちゃぺちゃ

まだ終わらせねえからな！
次にイク時はエロい声でイけよ
あぁッ
はっあッ・・・
そのままケツ上げてろ
ズプッ
グチュッ
グチュッ
グチュッ
うあぁッ
ダっ
だっ・・・め
ッはン
そこっダメ・・・ぇ
・・・あっ
いやッ
あぁ・・・
あーマジでチンコにクるわこのマンコ
はっ
嫌々言いながらグニュグニュ絡みついてくるし
嫌あッッ
私は何がしたいんだろう・・・

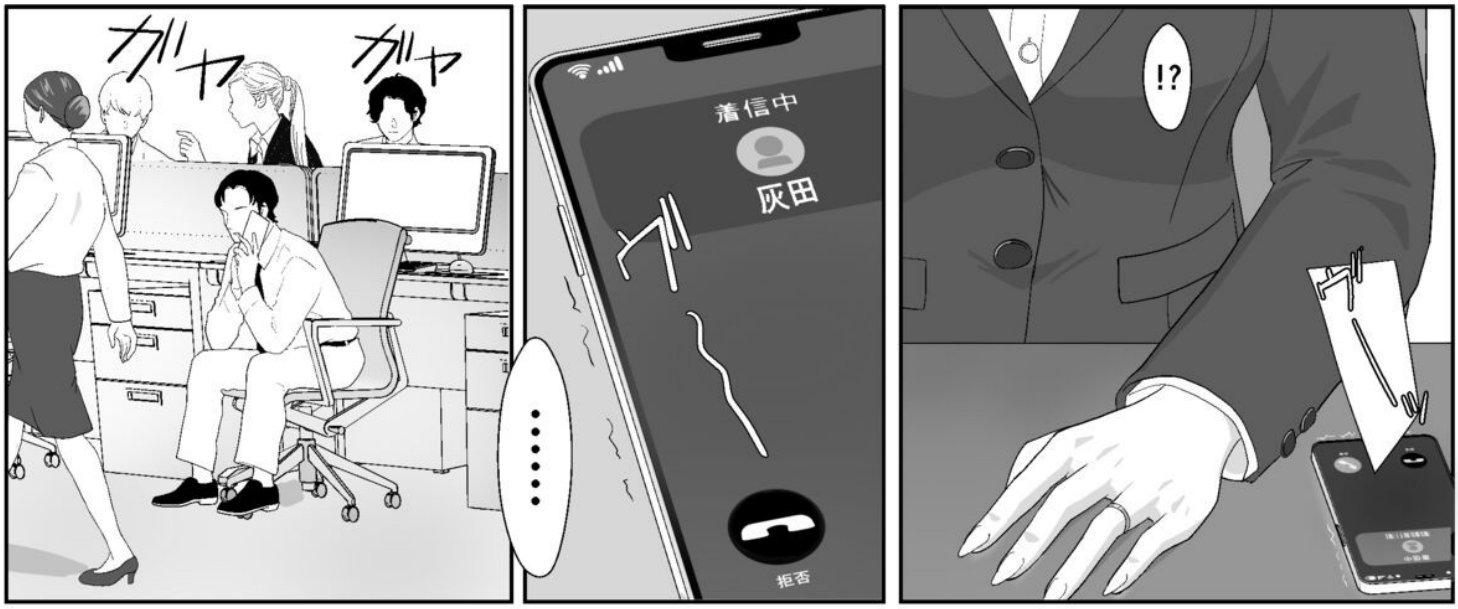
こんな
ひどい姿を
息子の同級生に
散々晒して・・・
ヒクーン
ふッ
ぐうううッッッ
いまさら
守らなきゃ
いけない
プライドなんて
・・・あるの？
なあ
いいだろ？
そろそろ
俺ん家も
飽きたし
っあ
・・・ッは
マジで
おばさん家に
行かせてくれよ
いッ・・・や
どれだけ
意地を張っても
あっ!!
やッ
いやっ
ぐっちょ
ぐっちゃ
だめぇッッ
コイツは
どこまでも
私につきまとい
弄ぶ



どうすれば・・・



斎藤部長
どうぞ
コーヒーです
コト
あら
ありがとう
笹野さん
えへへ
いいえ〜
斎藤部長
最近お疲れ
に見えたんで
たっぷり
お砂糖
入れときましたよ
そ、そう
気を使って
くれたのね
でもダメね
顔に出てたなんて
気をつけないと・・・
無理も
ないですよ〜
部長はいつも
激しく忙しそう
だったんで
ところで
明日からの
連休楽しみですね！
そ、そうね
ズイ
部長は
どう過ごすん
ですか？
私？
私はね 家族で
温泉旅行に行くの
え〜
良いなあ
さっ
連休を
憂いなく
過ごすためにも
しっかり
仕事しましょ！
はーい

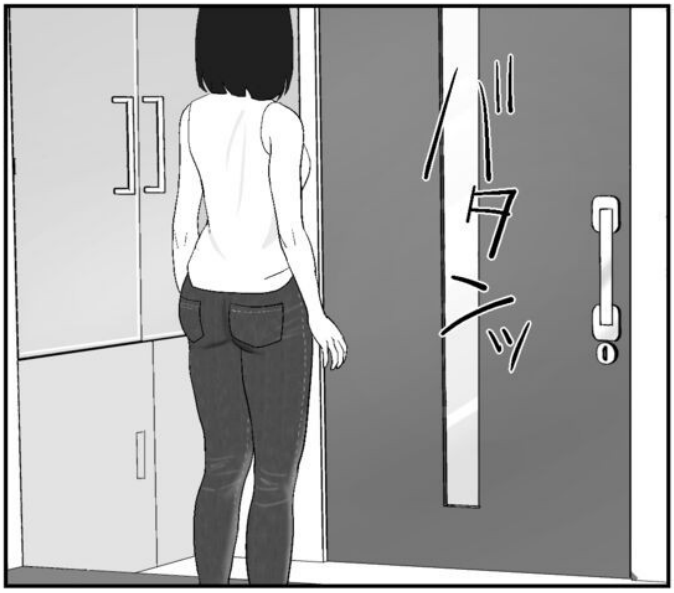

ガヤ
ガヤ
……
着信中
灰田
拒否
!?

ガヤ
ガヤ

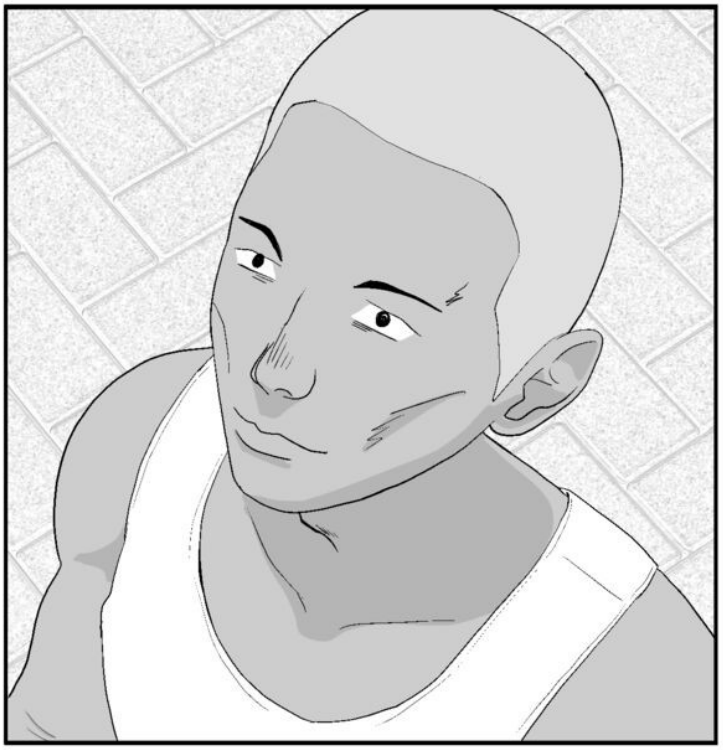
…はい
何か用？

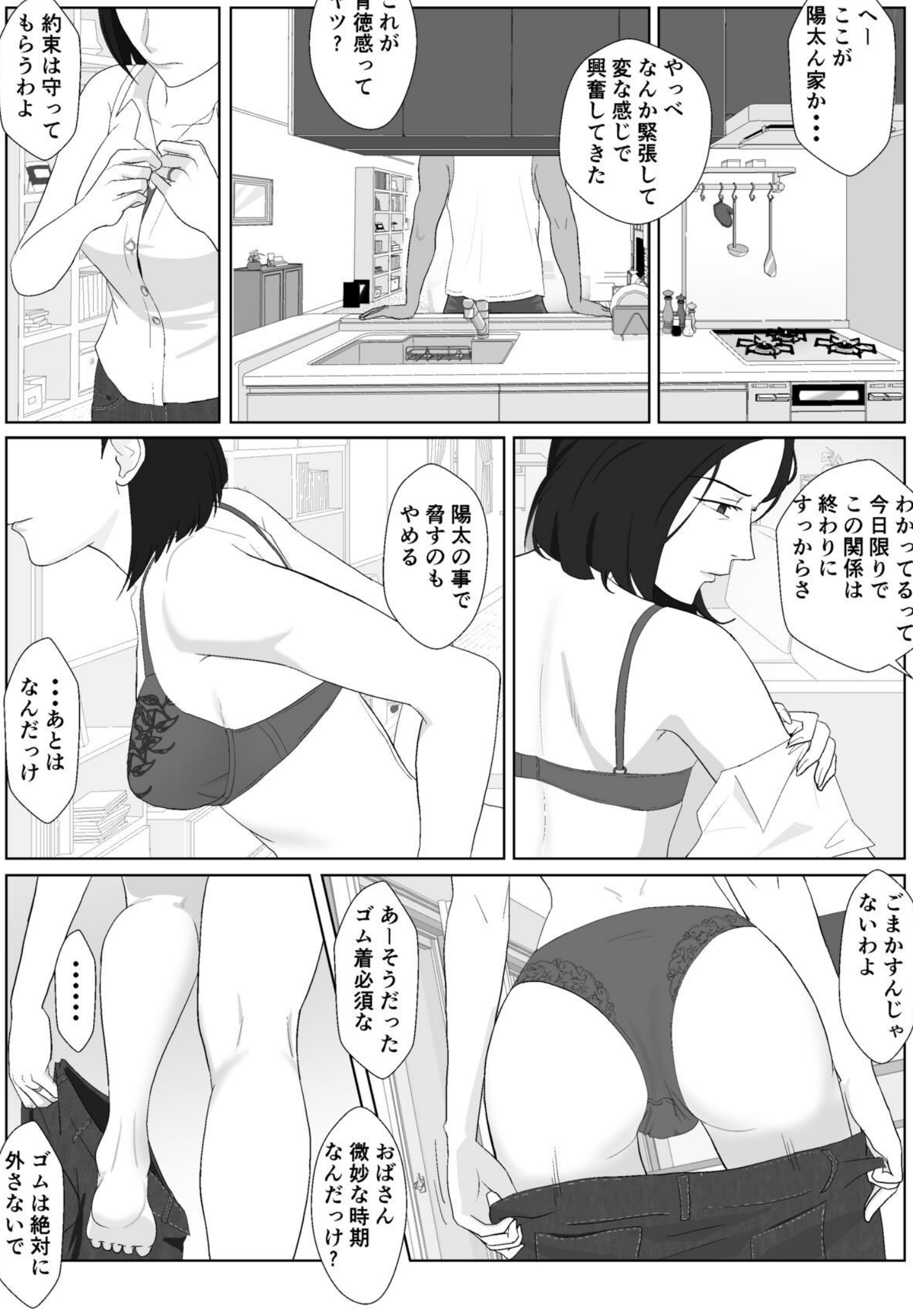
それじゃあ
母さん
俺たち先に
行ってるからね
ええ
私も仕事の
残務処理を
済ませたら
すぐ追いつくから
へへ
早く来ないと
俺と父さんで
美味しい物
食べ尽くしちゃうよ
あら
それじゃ早く
追いつかないとね

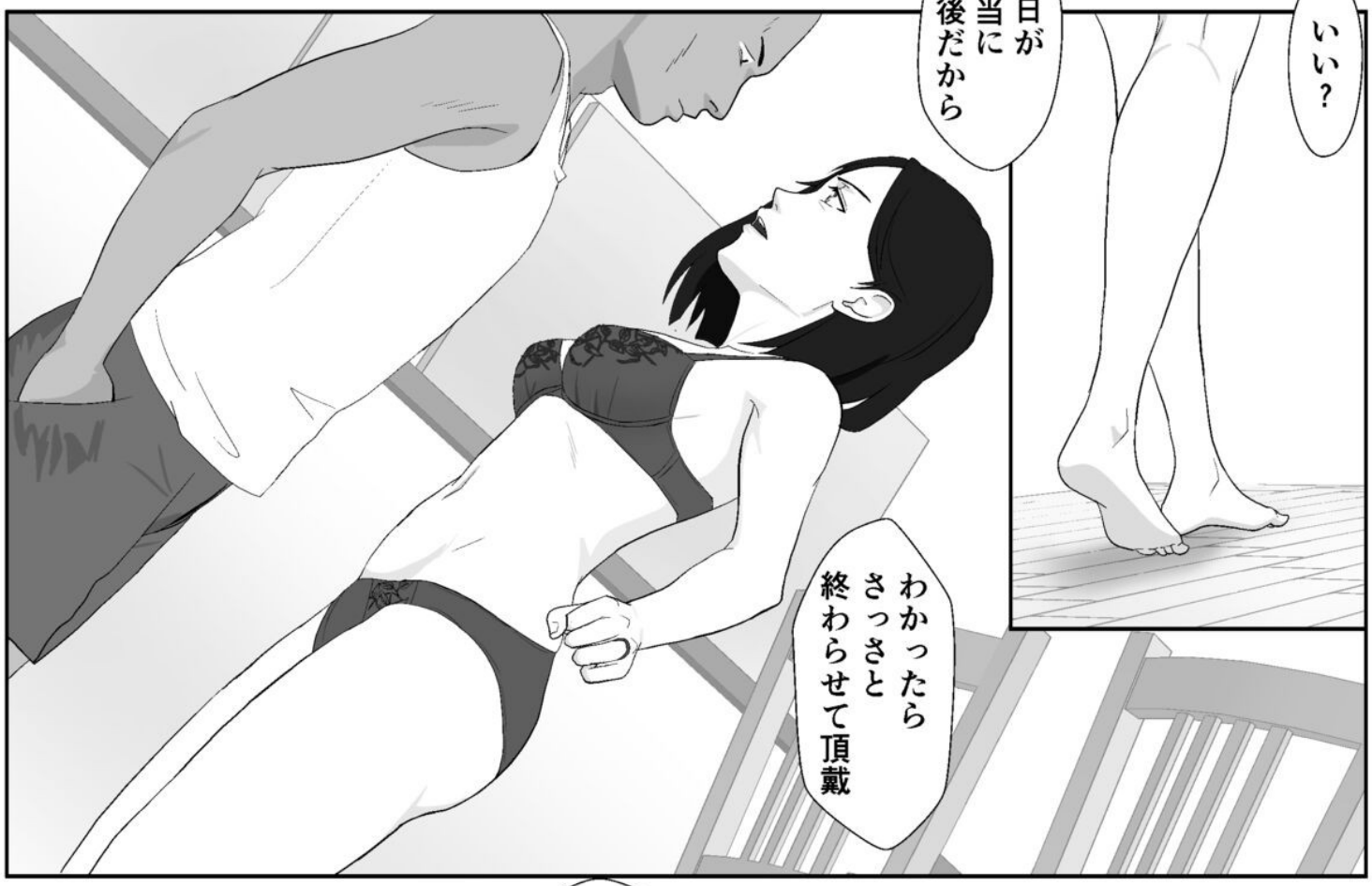
行ってきます！
それじゃ
由香里
旅館で待ってるよ
ええ
気をつけてね

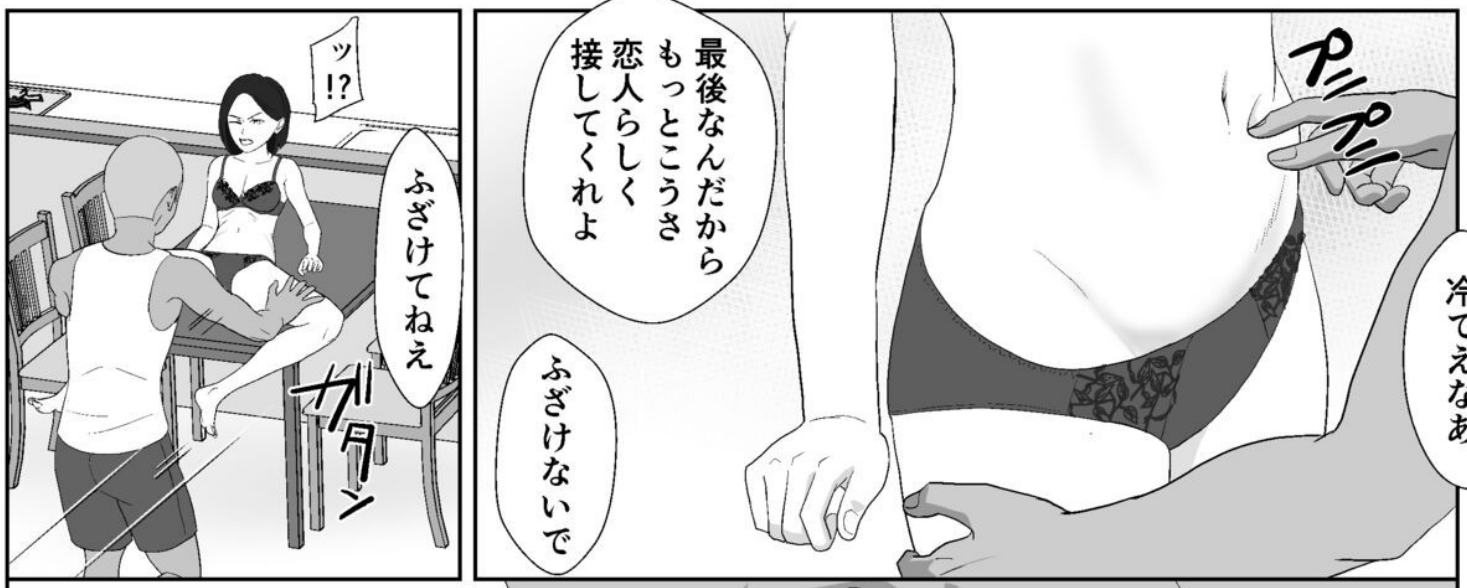

バタン

いってらっしゃい




へー
ここが
陽太ん家か・・・
やっべ
なんか緊張して
変な感じで
興奮してきた
これが
背徳感って
ヤツ？
約束は守って
もらうわよ
わかってるって
今日限りで
この関係は
終わりに
すっからさ
陽太の事で
脅すのも
やめる
・・・あとは
なんだっけ
ごまかすんじゃ
ないわよ
あーそうだった
ゴム着必須な
・・・・・
おばさん
微妙な時期
なんだっけ？
ゴムは絶対に
外さないで

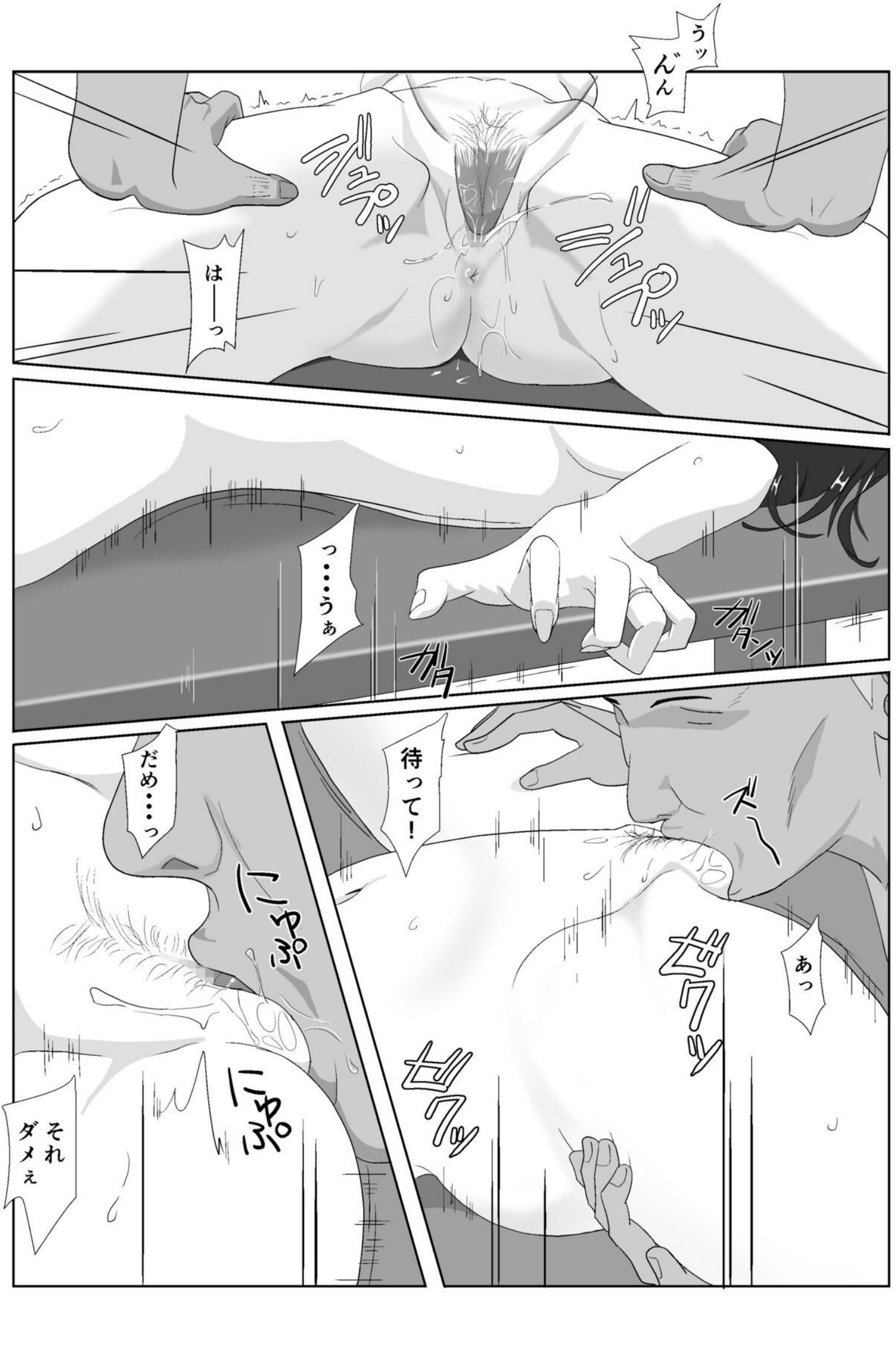

いい？
今日が
本当に
最後だから
わかったら
さっさと
終わらせて頂戴


冷てえなあ
最後なんだから
もっとこうさ
恋人らしく
接してくれよ
ふざけないで
ッ!?
ふざけてねえ
ガタン

ずい
『恋人らしく』だ
できなかったら
約束は無しだ
今更
何を――ッ

前戯は少しだけな
ピチャ
ずり
時間がもったいねえ
う…っ
ブルルン
ガタン
…くッ
ピチャ
ピチャ

んッッ!?
ちろ
ちろ
ちろ
ふッ・・・んん
遠慮しないでイっていいんだぜ
レロ
レロ
ぢゅ
誰がッ・・・よ
・・・ッ
っ・・・
ぷちゃ
ぷちゃ
ふッ
ぷるっ
ピン
ピン
ふっ・・・
ぢゅうう


うッんん
ニュプッ
ニュプッ
は――っ
っ・・・うぁ
ガタンッ
ガタ
待って！
ズ～
あっ
ゼクッ
ゼクッ
だめ・・・っ
にゅぷ
にゅぷ
それダメぇ

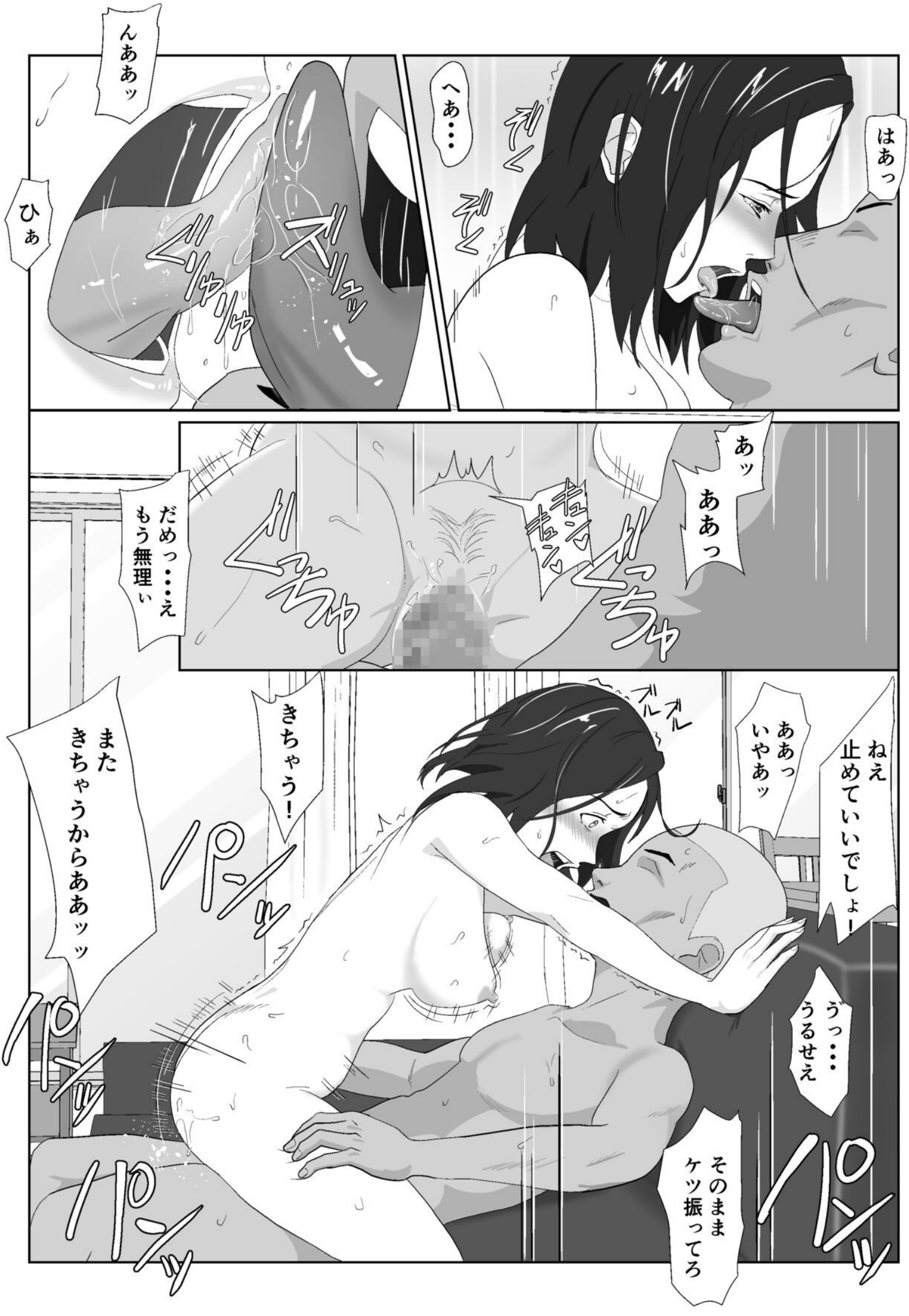
だっ――!?
ああッ
いやああッ
プシッ
ふう
ガタン
はぁ
はぁ
ほら
おばさん
へばってる
暇ねえぞ
さっさと
こっち来いよ

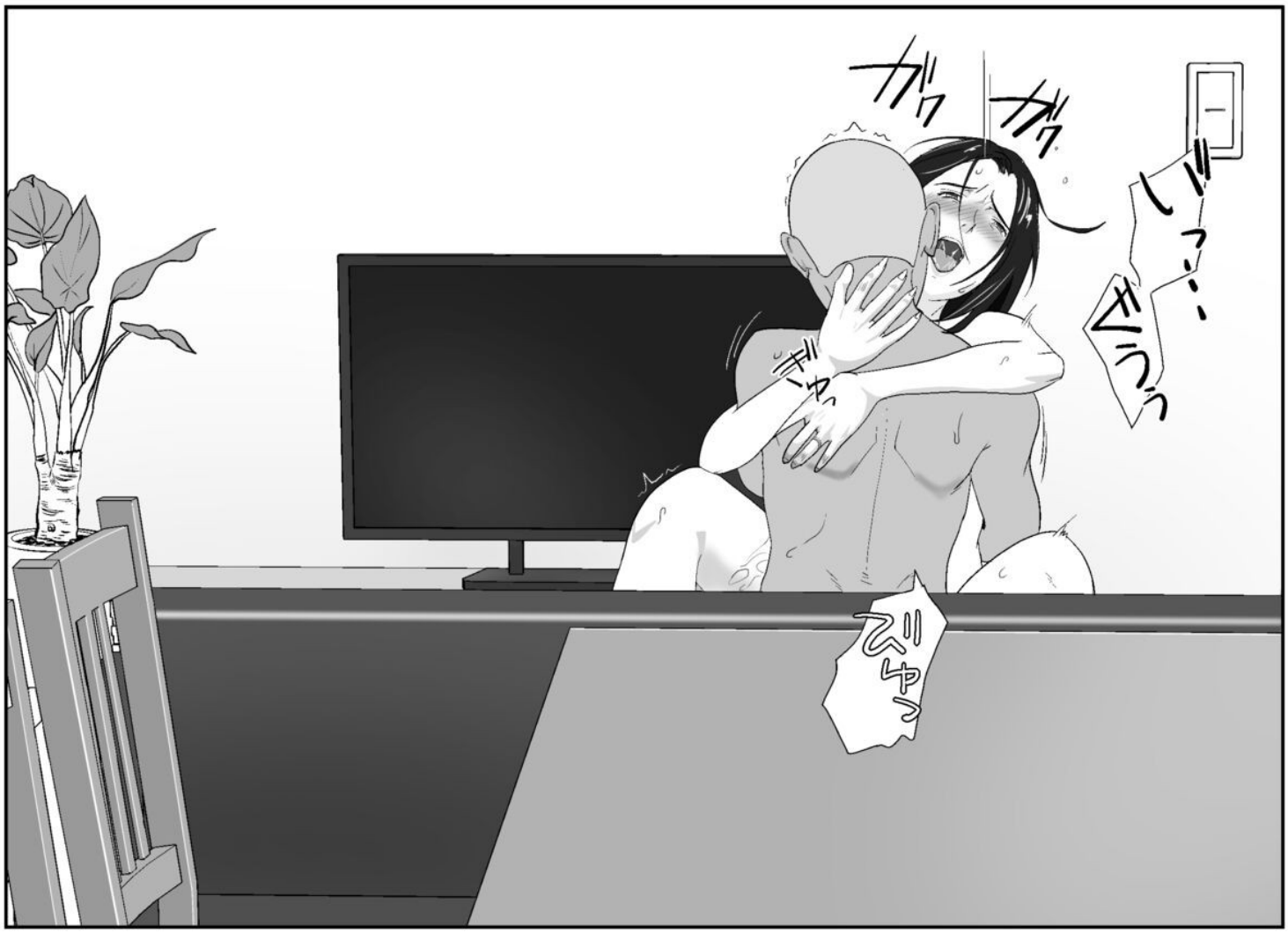
自宅という見慣れた空間が

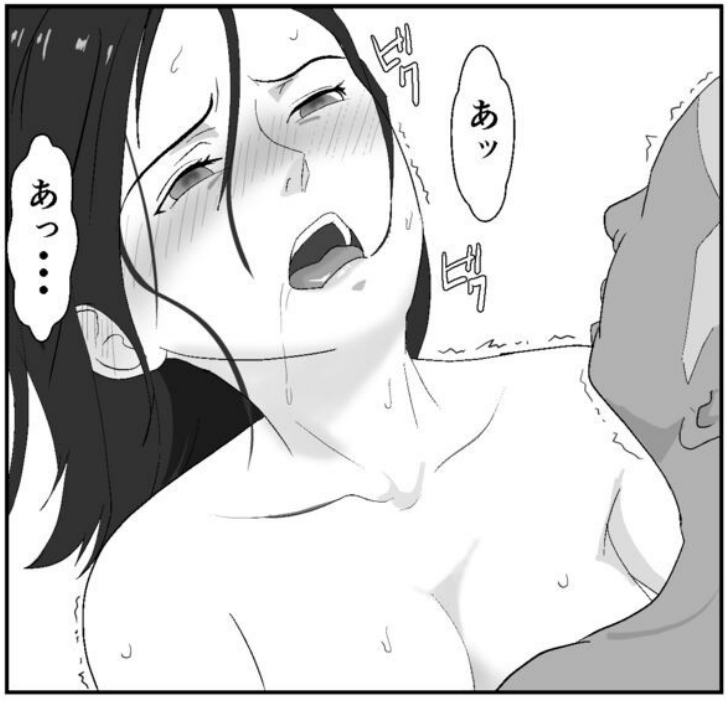
…ッ
ッっ
あっ…
なんで…？
っは
どうしてなの…？
あれ～
マ○コが
いつもより
うねってる
っんん
はッ
っッ
もしかして
おばさんも
家でヤって
興奮してる？
黙って
このクズ…
はっあ
んっ
あんッ
やッ

っ…!?
なんて声を出してるの私…!?
!?
へえ恋人っぽくなってきたじゃん
でもまだ足りねえもっとだもっと俺を求めろ
そ、そうよこれは演技よ
はあっ…
あっ
私はこのクズと決別するために
うっん
やっ
役に徹してるだけ
あッ
はんっ
あっあっあっ
ビクッ

んあッ
はあっ
にゃち
にゃち
あんっ
そんなッ
いやッ
いやよッ
ふ・・・っ
んぐ
ンッ
んっ
ンンッ
あっ
やっ
ぐちゃ


はあっ
へあ・・・
ぐぐぐ
んあああッ
ひぁ
ズリュッ
ズリュリュ
あッ
ああっ
だめっ・・・え
もう無理ぃ
ぐちゅ
ぐちゅ
ねえ
止めていいでしょ！
ああっ
いやあッ
ブル
ブル
うっ・・・
うるせえ
そのまま
ケツ振ってろ
パンッ
きちゃう！
パンッ
またきちゃうからあああッ
パンッ
パンッ





ハア
避妊具越しに
感じる灰田の
熱と脈動が

おらッ
呆けてんじゃ
ねえ

ハア
理性を
削いでいく

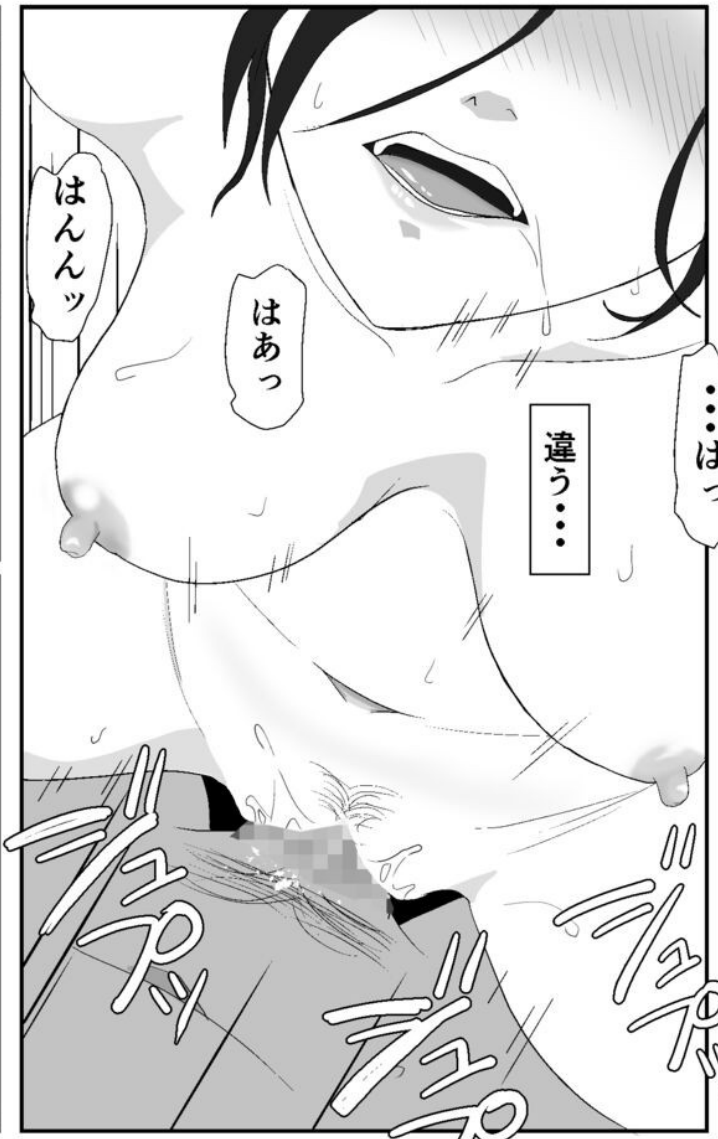
ハア
今日は
しこたま
ヤリまくって
やるからな

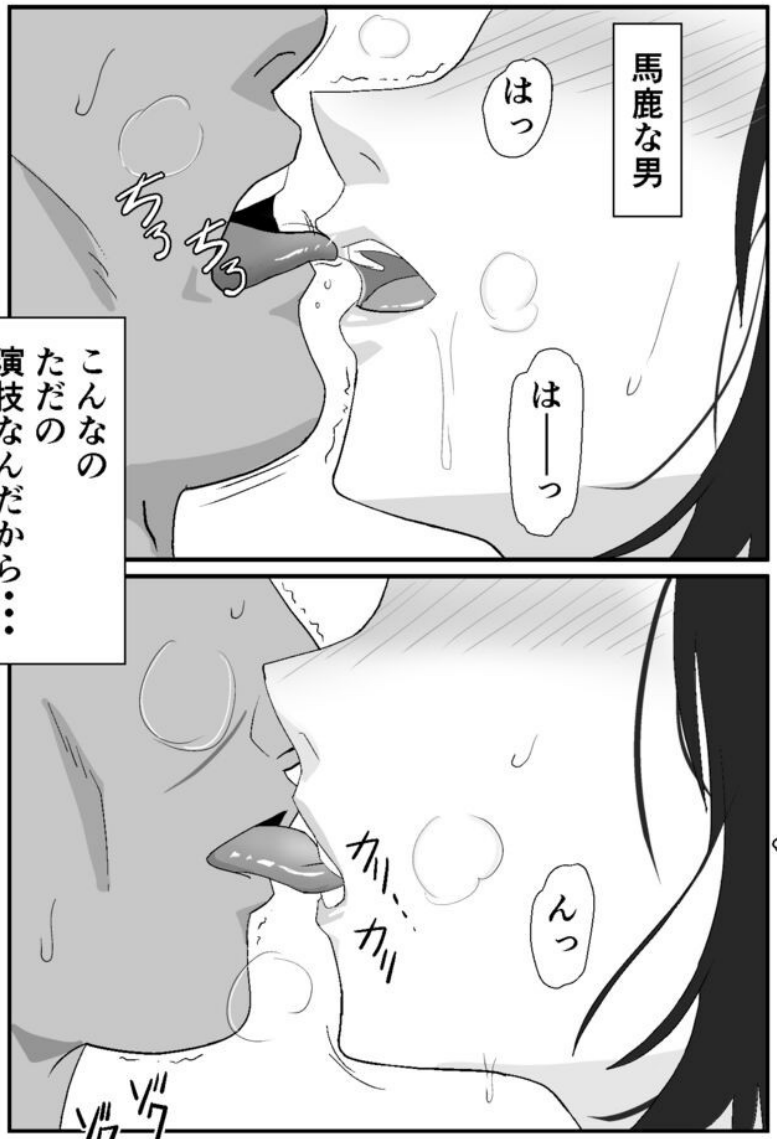
それでも私は
必死に
『これは演技』
なのだと
言い聞かせ
続けた

はあ
はあああッ
まッ・・・
待ってッ
激しッ
ぶるぶる
パン
パン
んっあああああッッ
ガクン
ガクン
チュッ
チュッ
ダメだってばあぁッ
ガタッ
ガタン
あぁっ
また…ッ
はッあああん
嫌ッッ
灰田は私を
連れ回して
家中で
犯し続けた
まるで
私たちの行為を
刻み込むように
・・・

吸われるの好きなんか？
マンコキュンキュン締めてきて凄えチンコにくるなあ

っ・・・ぐ
はっはっ
たまんねえな
んんッ
吸うたびに乳首硬くしやがって


・・・はっ
違う・・・
はあっ
はんんッ


馬鹿な男
はっ
は――っ
ちろちろ
こんなのただの演技なんだから・・・
んっ
カリ、カリ
ゾクゾク

うぅ
こんなの
我慢できっかよ

ッッはああ

このエロババア！

あっ…

ああ…っ

ぴゃるっ

ぴゃぴぴっ

まだだ
まだ足りねえ

っ…

ぎゅうう

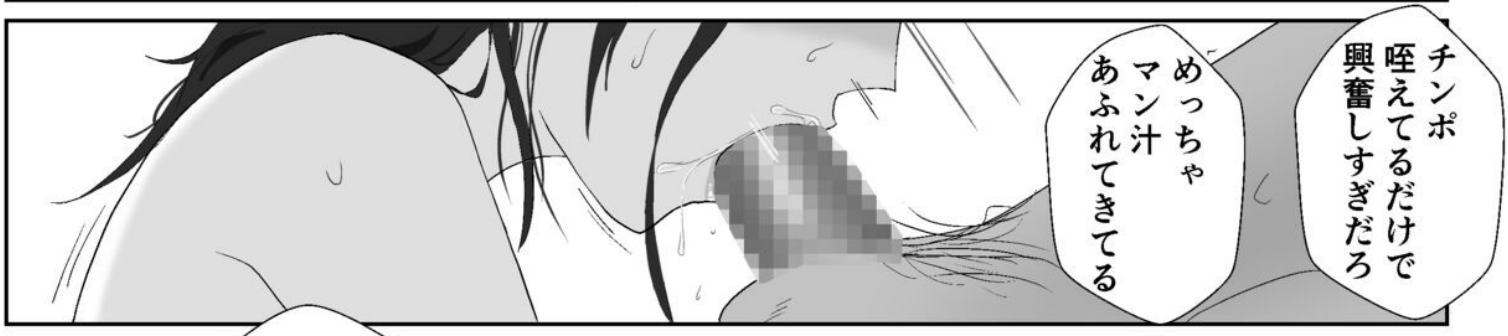
まるで妊娠させるかの勢いで吐き出される精液

それを薄い避妊具が必死に拒んでいてもその熱は嫌でも伝わってくる

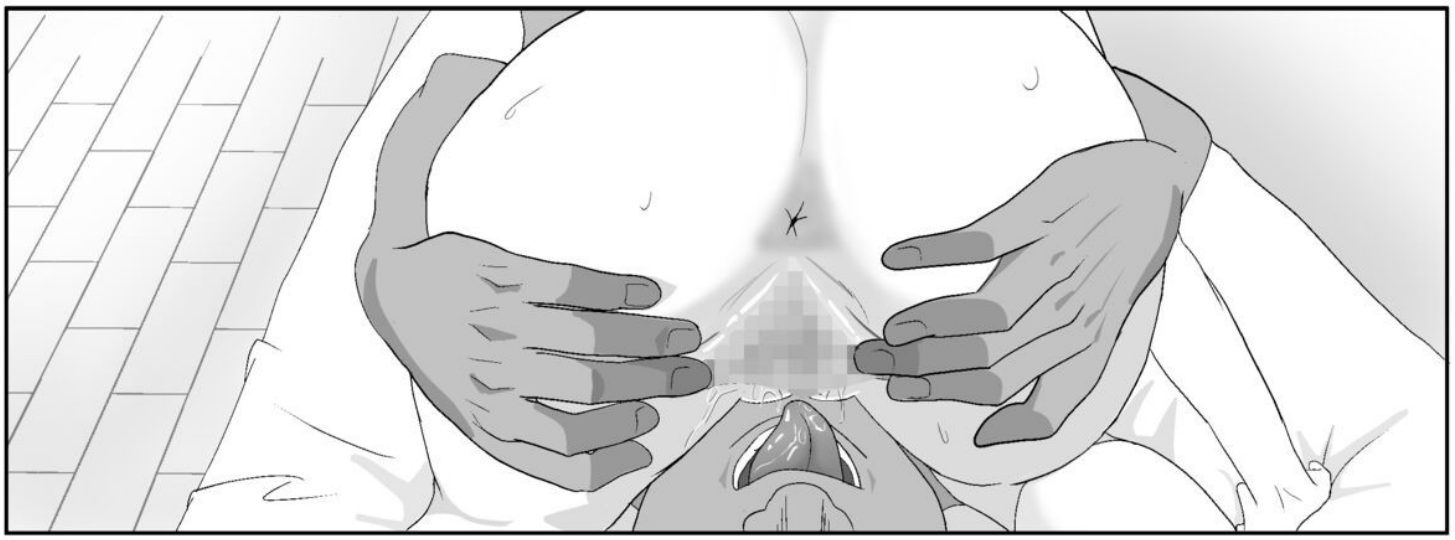
灰田は
嫌がる私を
無理矢理連れて

陽太の部屋でも
行為を強いた

うっわ！
エロいわ
コレ
ふ――っ
んっぷ
ふ――っ
ぬっち
ぬっち
おばさんさあ

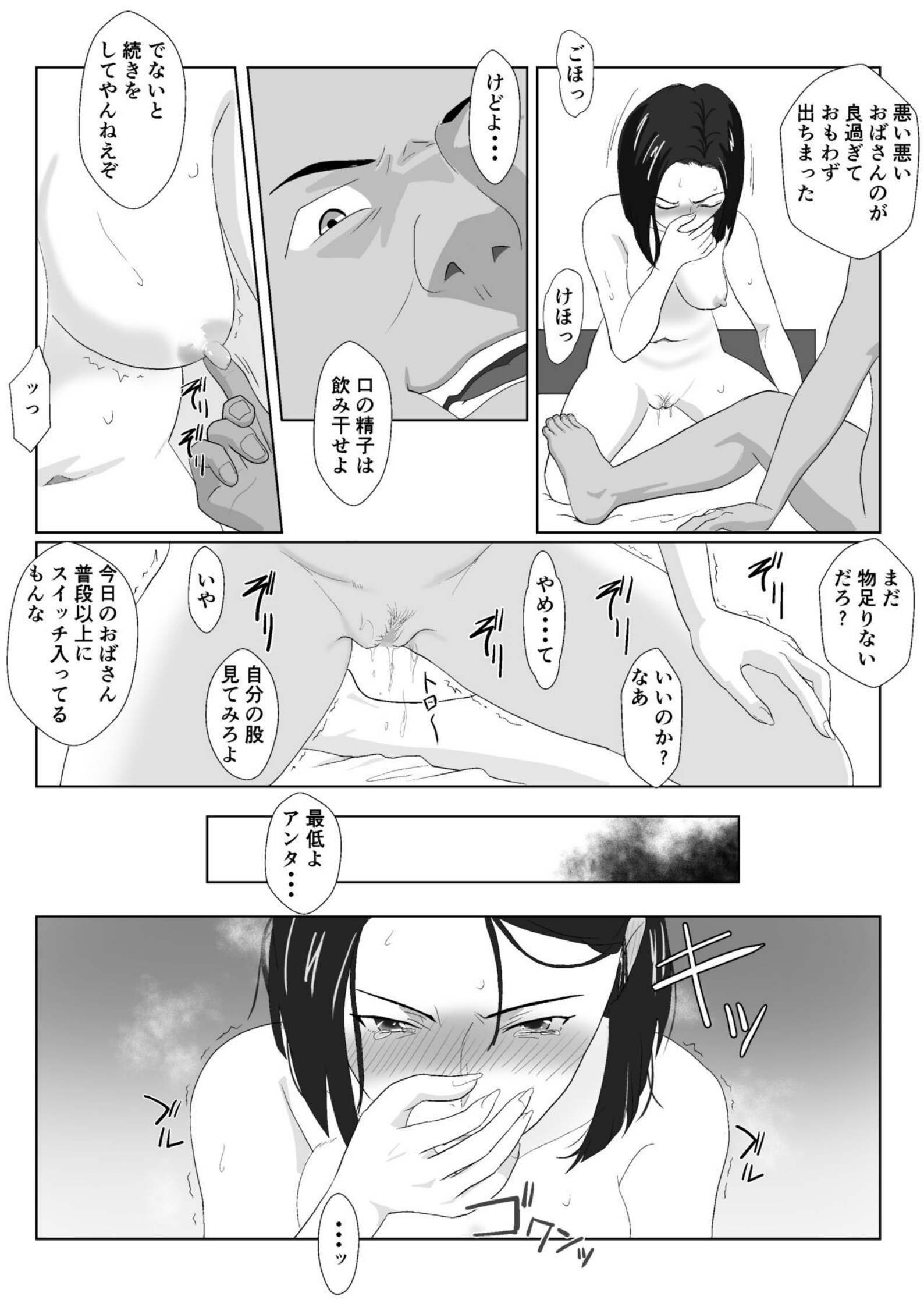

チンポ
咥えてるだけで
興奮しすぎだろ
めっちゃ
マン汁
あふれてきてる

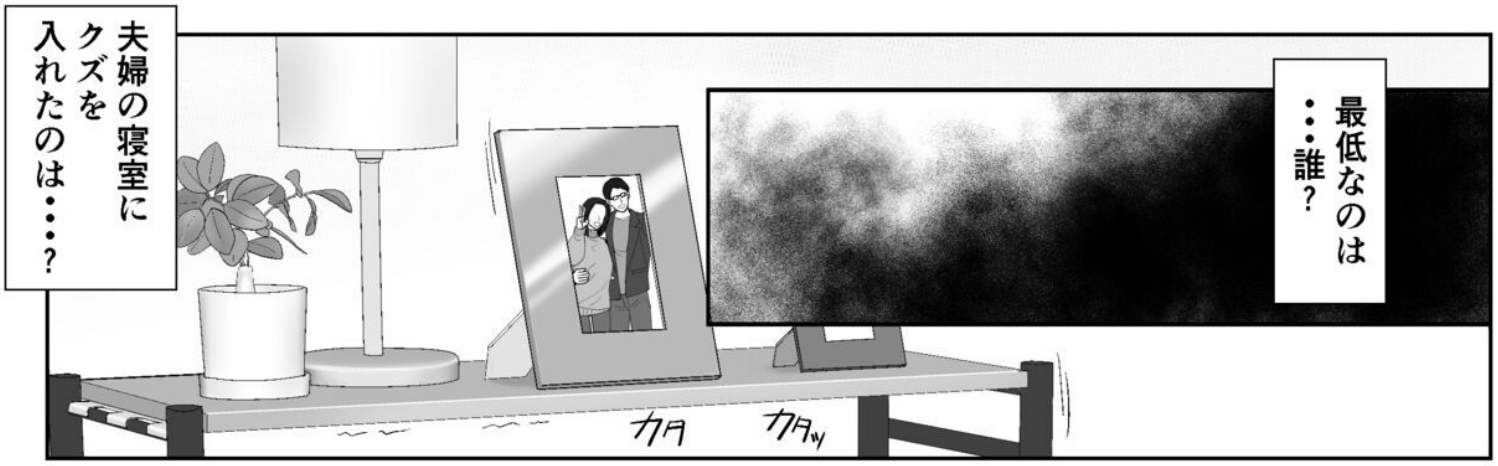
あー良い
やっぱゴムないと
感触全然違うわ
しかも
陽太のベッドで
あいつの母ちゃんに
しゃぶってもらうの
最高にクるわ～
きしっ
きしっ



はぁあああん
ビクッ
グチュ
グリュ
チンポ放すんじゃねえ
俺がイクまで部屋から出さねえぞ
ぬりゅ
うぅっ
グプッ
グポッ
ズン
ズン
ズン
グチャ
グチュ

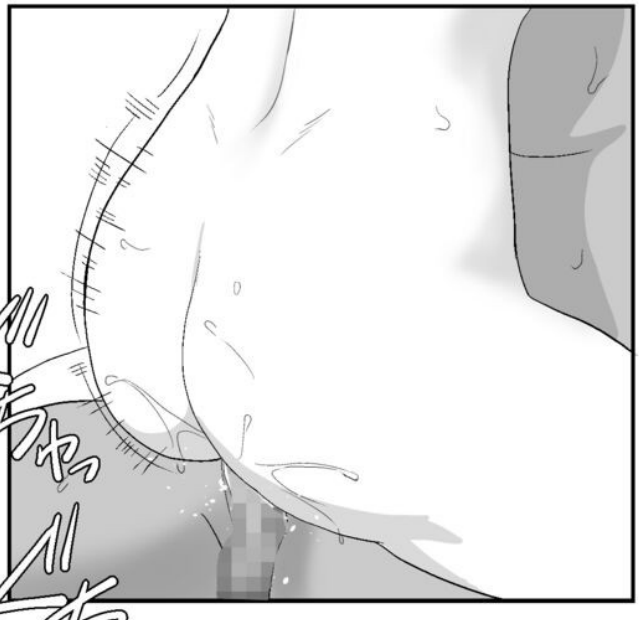
はッあ
ぬちょ
ぬちゃ
ぐっちょ
ぐっちょん
ッはう
っんぅ
コスコス
んっは
つは
んっ
ふっ
ジュポ
ジュポ
ジュポ
おっ・出ッ
っぐ
ドクッ
ドクッ
ドクッ
ふッんぐ・・・


悪い悪い
おばさんのが
良過ぎて
おもわず
出ちまった
けほっ
ごほっ
けどよ・・・
口の精子は
飲み干せよ
でないと
続きを
してやんねえぞ
ッっ
まだ
物足りない
だろ？
いいのか？
なあ
やめ・・・て
トロ～
いや
自分の股
見てみろよ
今日のおばさん
普段以上に
スイッチ入ってる
もんな
最低よ
アンタ・・・
キッ
ゴクンッ
・・・ッ


最低なのは
・・・誰？
夫婦の寝室に
クズを
入れたのは・・・？
カタ
カタッ

もっと・・・
はーっ
はっ

ハッ
ハッ
あっ


ムチャッ
ムチャッ

・・・もっと
して
はっ
はぁ

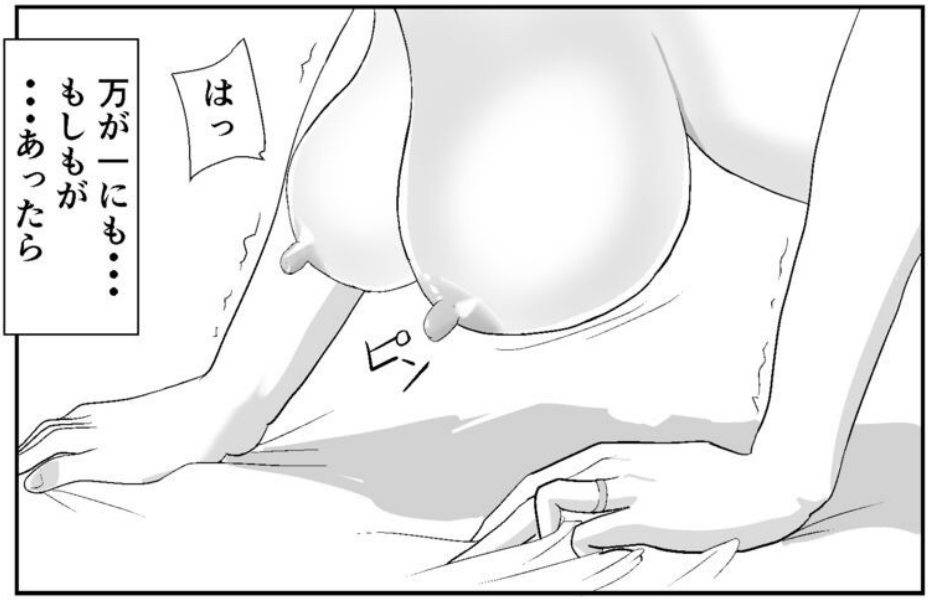
あぁッ
そこ・・ダメッ
あああッッ
だめだめぇ
もっと！
あっあん
はッ
はあぁっ・・・
んあッ
おぐッ
いくぞ
出すぞ！

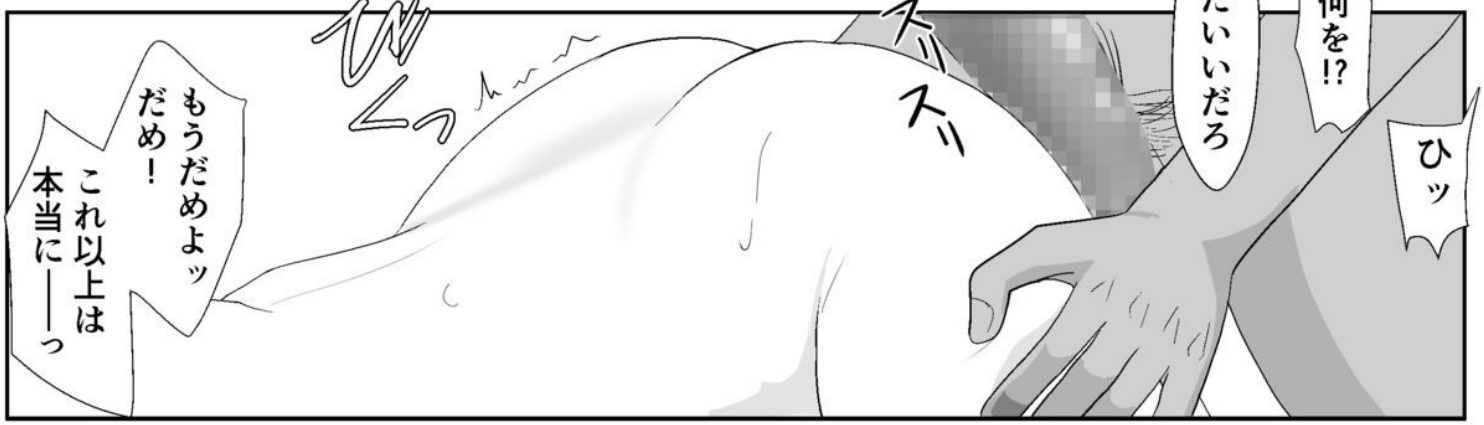
あぁっ
っはぁ・・・ン
ああ・・・
熱・・・い
男性器の
脈打つ感触が
伝わってくる
・・・あっ
は・・・
そのたびに
流れ込む精液が
体の芯を
火照らせる
あぁ・・・
・・・流れ込む？
・・・精・・・液？

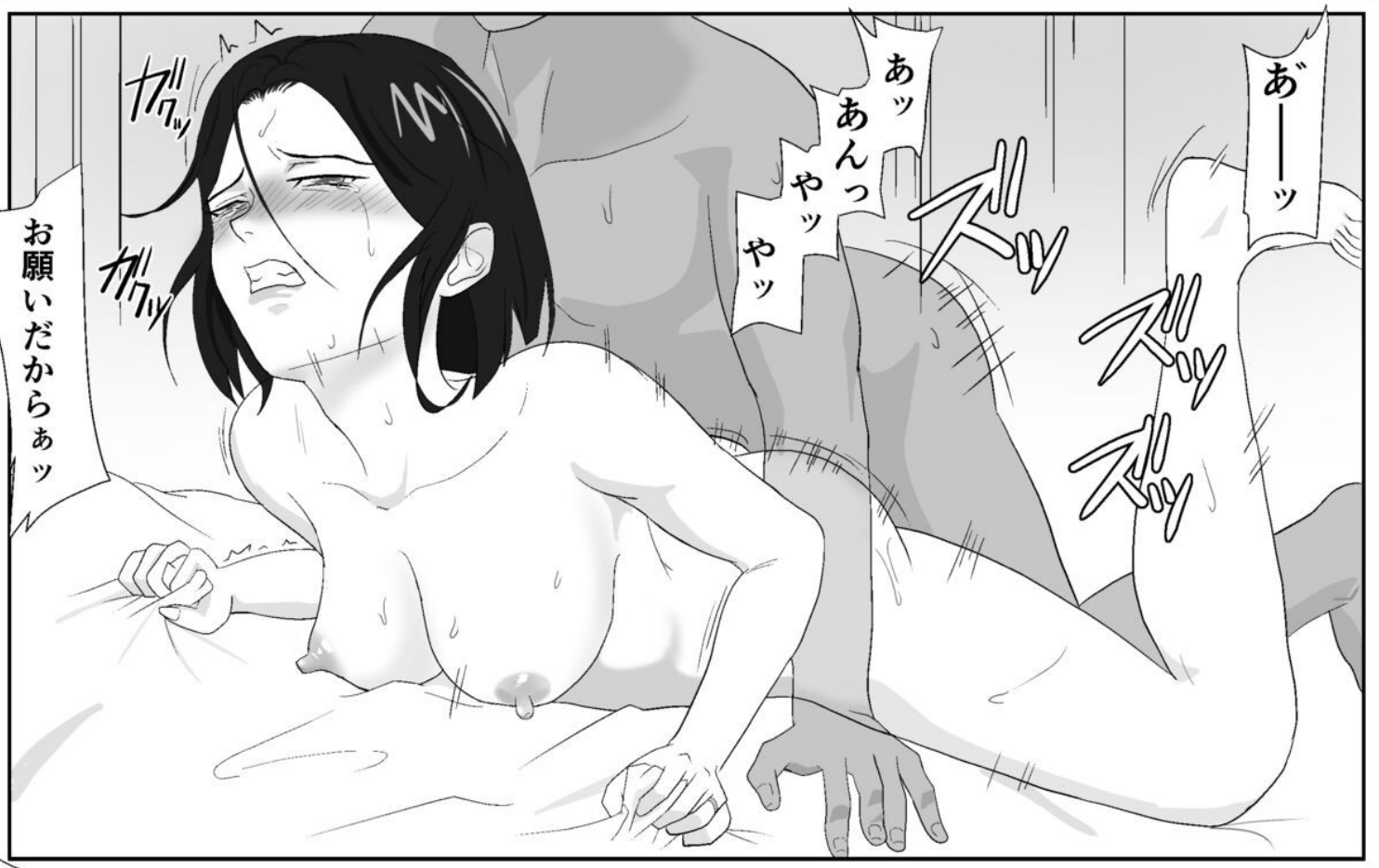
嘘っ・・・
ちょっと待って！
どうして
中に出てるのよ！
ああ？
どうしても何も
ゴム無しで
突っ込んだからに
決まってんだろ
なッ・・・
いつの間に
ゴプッ
ギュッ

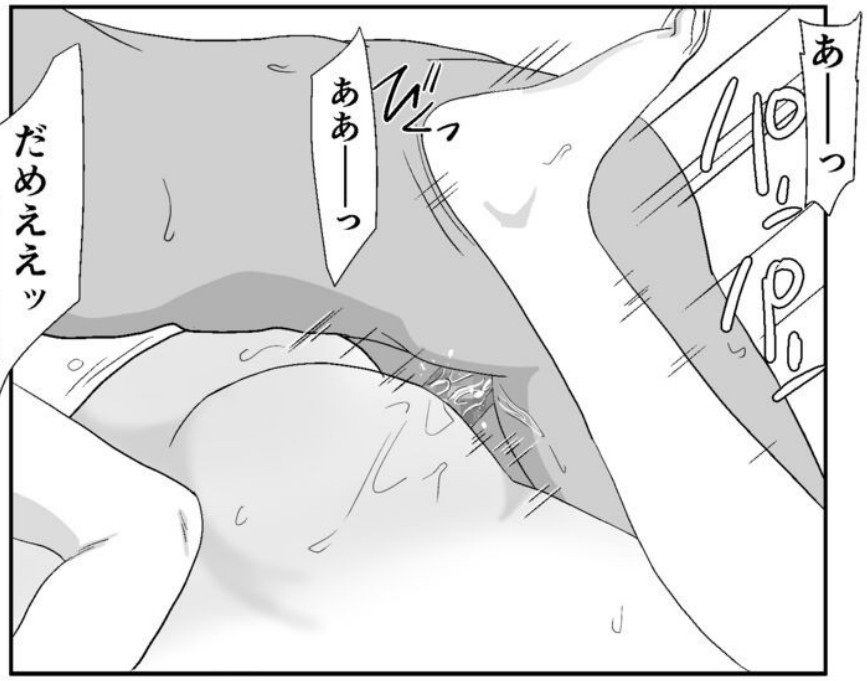
ああ
こんなに・・・
なんだよ
おばさんが
悪いんだろ
スケベに
夢中に
なってるから
悪ふざけじゃ
済まないのよ！
ビロッ

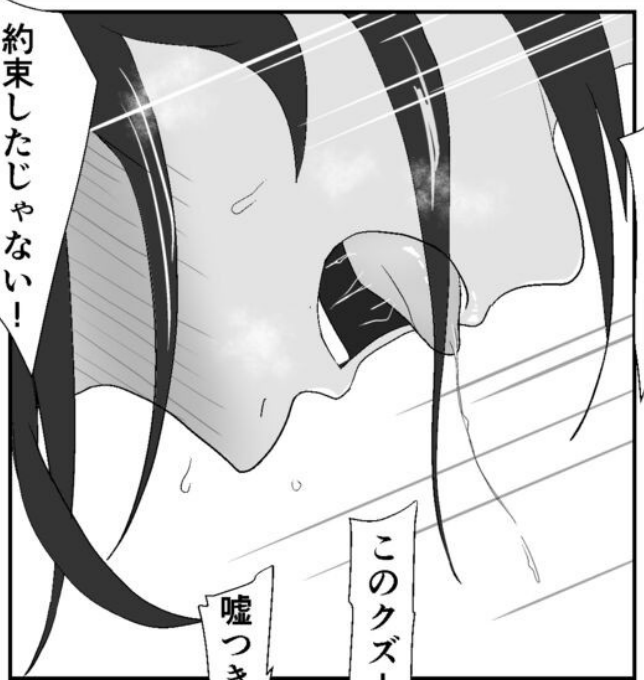
と、とにかく
すぐ洗わないと・・・
ガク
ガク


はっ
万が一にも・・・
もしもが
・・・あったら
ピン


ひッ
何を!?
まだいいだろ
もうだめよッ
だめ！
これ以上は
本当に——っ


あ——ッ
あッ
あんっ
やッ
やッ
お願いだからぁッ


あ——っ
ああ——っ
だめえええッ


約束したじゃない！
このクズ！
嘘つきッ

嘘よ
よ、陽太には
二度と
ちょっかい
ださねえ
それだけは
約束してやる
パチュ
パチュ
ビクッ ビク
パチュ
こいつは・・・ッ
んっ
はああッ
いつも
こうやって
約束を破る
はンッ
んんッ
ヌチュ
グチャ
グチュン
はぁ
ああ
これこれ
この動き
やっぱ
おばさんの
マンコ
最高だわ
うあッ
はぁッ
だから・・・
ンぐぅ
興奮すっと
ウネウネ締めて
チンポ
ねだってくんのよ

だからこそ・・・
おっ!?
私が犠牲にならなきゃ
はあっ
んっ
ぐちゃ
レロレロ
このクズの意識を私に向けてさえおけば
んんッ
キュンキュン♡
ぬちゃ
ぬちゃ
ぬちゃ
あっ
やべ不意にされる恋人キス
チンコにかなり響くわ
俺マジでおばさんに惚れそう
確実に息子を家族を守れるから
あんッ
ああっ
ッく
出すぞッ!
やっ
だっ
だめッ
そッ・・外にッッ
あっあッ
ぎしっ
ぎしっ

はあぁッ
ブルブル
ドプッ
きちゃう！
またきちゃう!!
いやッ
いやッ
いっ
イックぅ
はっ
んんんッ
自分から
尻押し付けといて
何言ってやがる
このエロババア

・・・あっ

気持ち―
ブルルン
ドクン
ドクン
あぁ・・・
良くなんか
・・・ない
はっ

全部・・・
はあ
ドクン
ドクン
あ・・・熱い・・・
家族の為
なんだから・・・あ
全部・
はあ
はあ

今回は自分の好きなシチュエーションを
入れ過ぎて想定よりかなりボリュームが
増えてしまいました

『堕ちてるのに頑なに認めないエロ熟女』

このヒロインは気に入っているので
想像力が膨らむのですよね

そのせいか最近はマドンナのエロ動画を
頻繁に購入するくらいプライベートも
引っ張られてます

ずいぶん寒くなりました。
皆様も体調にはお気をつけください

最後になりましたが
お買い上げありがとうございました

また次作でお会いしましょう

紀山ハル